

KGA NEWS

2008冬号 No.98
2008年12月20日発行

 関東ゴルフ連盟

KGA NEWS No.98 2008冬号 2008年12月20日発行

CONTENTS

- 平成20年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技
トップアマとして社会人として文武両道の達人、
豊島豊選手頑張る 2
- 平成20年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技
ベテラン対決は宮辰夫選手の逆転2連覇で決着 6
- 平成20年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技
南雲真理選手が見事2連覇!!
2位に9打の大差をつけて圧勝 10
- 平成20年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技
小林禎一郎選手が終始安定したプレーで初のKGA個人タイトルに輝く 14
- 平成20年度 第14回 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技
〈男子A・Bクラス〉
快晴の大洗ゴルフ倶楽部に交流の輪和気あいあいの祭典を楽しむ 18
〈女子A・Bクラス〉
名コース・大洗ゴルフ倶楽部での初めての女子競技開催 21
- 平成20年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技
日本ジュニア活躍選手を多数輩出も、マナー面での不満が 25
- 平成20年度 KGAジュニアゴルフ大会（小学生対象）
—KGAが掲げる大会の目的—
「競技ゴルフの練習の場とし、楽しさと醍醐味を経験させる」 29
- 特集
税対策委員長対談
固定資産税軽減のチャンス拡大!
現況地目山林への見直しを提案 32
- 「KGA Golfer'sカード」がアクティブなゴルファーズ倶楽部と提携
Today Golfer's「晴れ倶楽部」とのコラボレーションで
深まる普及!広がる可能性! 34
- 平成20年度第3回「体協委員会」を終えて
より円滑な国体競技運営を目指して 36
- 新規加盟倶楽部紹介 38
- 常務理事会・理事会 40
- 月例競技成績表 52





■平成20年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

トップアマとして社会人として 文武両道の達人、豊島豊選手頑張る

文/本條 強 (KGA広報委員会参与)
写真/増田 収 (KGA広報委員)

もうすぐ10月だというのに蒸し暑い日だった。第8回関東ミッドアマは名門、東京ゴルフ倶楽部(埼玉県狭山市)で行われた。関東アマは若く力のある学生が上位を占めるが、ミッドアマは、社会人の戦いになる。仕事を抱えながらゴルフに情熱を傾ける、力だけではない経験に裏打ちされたプレーは見応えがあった。

難コース、東京GCに苦戦する選手たち

予選は今回1184人を数え、8年前の第1回大会の334名の4倍近いゴルファーが参加。昨今の競技ゴルフへの人気を物語る。

決勝大会に進出したゴルファーは144名。いずれも名うてのシングルが東京GCに挑んだが、2日間競技の1日目は77人が80以上を叩いた。駒沢、朝霞を経て、狭山と変遷した95年もの歴史を刻む東京GCは、そう簡単には攻略できないコースである。このコースの常務理事で

あり、関東ゴルフ連盟・竹田恆正副理事長が語る。

「ミッドアマのためにコースセッティングを特別に難しくはしていません。6900ヤードと特に長くはありませんし、ラフもそう深くはしていません。しかし、朝霞を造ったチャールズ・H・アリソンのデザインを習得して大谷光明氏がここを造ったわけですが、アリソンばりの深いバンカーや小さなグリーン、育った樹木などが、このコースは距離もなくやさしそうと感じた人にとっては、思わぬ落とし穴があるのだと思います。バーディー狙いで行くと、ボギーやダボも出るコースですね。天皇陛下や英国の皇太子がプレーされたり(駒沢)、卓越したゴルファーが挑んできた歴史が、ゴルファーに高



竹田 KGA 副理事長

貴な精神があるかどうかを試す重厚感をもたらしているのかもしれませんが、プロもアマも30年以上もコースレコードが更新されていないんです。」

初日60台のラウンドは豊島選手のみ

大会初日は69と参加選手中ただ一人、60台で回った東千葉CCの豊島豊選手が首位に立った。東千葉CCは関東倶楽部対抗競技で今年2連覇を逃げたが、豊島選手はその若きエースである。

その豊島選手を追いかけるのが71で上がった飯塚裕一選手や、72で回った秋元一男選手と藤田大選手、4打差の73には和田博選手や高橋雅也選手など強豪がひしめいている。藤田選手と和田選手は日本アマも獲った実力者だ。

豊島選手のステディなゴルフが2日目も揺るがなければかなりのチャンスになるが、不安材料はこれまで大きなタイトルを獲ったことがないこと。優勝の2文字がちらつきだしたときになるか。最終日は面白い戦いが予想された。

元日本アマチャンピオンの内藤正幸氏が関東ゴルフ連盟の競技副委員長となり、フェアで頭脳を要するピンポジションが設定されている。それ故、前半のアウトでスコアを大きく伸ばした選手は特になく、強豪たちもジッと我慢のゴルフを強いられていた。

豊島選手が2打縮めて5アンダー、藤田選手がバーディーを取るがボギーも出して一つしか伸

ばせず2アンダー、秋元選手が一つ落としてオープンパーとなった。ハーフを終えて豊島選手の優勝が濃厚になった。

中盤の攻防は混戦模様

ところがミッドアマは、プロの競技などと違って昼食を摂る。これでリズムや流れが変わってしまうことが多い。

後半が始まってすぐの10番パー4で豊島選手がティーショットを左のクロスバンカーに入れ、フックをかけてグリーンを狙ったセカンドショットがそのまま真っ直ぐ飛んで右のガードバンカーへ。これが寄らず、ファーストパットにパンチが入って大きくオーバー、返しも入らずにダボを叩いてしまったのである。

藤田選手との差が一気に1打となり、バーディーを奪った秋元選手も2打差と、優勝の行方がわからなくなってしまった。

しかし、続く11番パー4のティーインググラウンドで、豊島選手は表情が硬くなるどころか笑顔が浮かんでいる。誰かが発したジョークに白い歯を見せているのだ。

このホールで豊島選手はバーディーチャンスに付け、藤田選手はガードバンカーから出すだけ。ところが藤田選手はその12番パー4で、豊島選手は2打を外したのである。豊島選手にとっての嫌な雰囲気は観戦する者でさえ感じた。

豊島選手が後で言った。

「藤田くんは大舞台に強い。飛距離も出ますし、意外性もあるので恐かったですね。」

しかし、12番パー3で藤田選手がグリーンを外してボギー、豊島選手はバーオンのパー。秋元選手がバーディーを奪うのである。豊島選手との差はたった一つ。追いかける男が秋元選手に交代した。



2位タイの3名、左から高橋 雅也選手(川越)、秋元 一男選手(相模原)、藤田 大選手(車月・佐野)



2位タイ 高橋 雅也選手 (川越) 2位タイ 秋元 一男選手 (相模原) 2位タイ 藤田 大選手 (皐月・佐野)

13番パー5はバーディーが獲りたいホール。豊島選手はラフを渡り歩いたが粘り強くバーディーを奪う。が、藤田選手と秋元選手もバーディーで差は開かない。

14番パー4は豊島選手が手堅くパー。藤田選手はティーショットを信じられないトップのミスで150ヤードしか飛ばずにボギー。秋元選手も右ラフからガードバンカーの縁に入れ、大ピンチに見舞われたが、そこから奇跡的な寄せを披露してパーセーブ。

豊島選手が言う。「前半は藤田くんにいじめられ、後半は秋元くんにはハラハラさせられた。僕はこれまで競って勝ったという経験がないんです。昨年の関東アマも最終日に最終組で回ったのに、勝てなかった。10番のダボもあったし、今回もまた勝てないのかなと思いました。」

ラストパートで豊島選手が逃げ切り

しかし、そんな豊島選手が底力を見せたのが、続く15番パー5。2オンを狙ったフェアウェイウッドのショットがグリーン左に外れたが、そこから絶妙のピッチ&ランで1に寄せてバーディーを奪った。

藤田選手もバーディーとしたが、秋元選手は1.5ヤードを入れることができずにパーにしまった。豊島選手に少しだけ余裕ができた。「あのアプローチはもう一度やれと言われてもできないショットでした。でも、あの寄せが大

きかった。競り負けるものかと気持ちが盛り返せました。」

16番はボギーの出やすい440ヤードのパー4。ここで豊島選手はパーオンのパー、藤田選手はガードバンカーに入れてボギー、秋元選手はパーオンのパーだった。

17番もボギーの出やすいパー3。グリーン面が見えずらいようにわざとフロントティーを使った巧みなティー位置で打たされた。しかし、3人ともしっかりとグリーンを捉えて、豊島選手と秋元選手がパー。藤田選手はバーディーを奪った。残り1ホールで豊島選手と秋元選手の差は2打、藤田選手とは3打あった。

最終18番は457ヤード左ドッグレッグのパー4。難しいフィニッシングホールだが、後のない秋元選手は渾身の力を込めてドライバを一閃した。

しかし、それがかえってコントロールを乱したのか、右に大きくブッシュアウト。白球は林に吸い込まれていった。そこから無理に使ったユーティリティがチョロとなり、3オンを果たすがボギーに終わった。

豊島選手はグリーンを外すが、これも見事なピッチ&ランでOKに寄せてパーを奪い、秋元選手と藤田選手、そして前の組の高橋雅也選手に3打差をつけて優勝を果たしたのである。

仕事が第一、ゴルフは二の次

「僕にとって初めての大きなタイトルですか



試合中のティーグラウンドで

ら、本当に嬉しいです。昨年30歳になってミッドアマのルーキーイヤーで、予選のメダリストにもなって大きなチャンスだったのですが、仕事が忙しくて本戦を欠場してしまったんです。その悔しい思いを晴らしたいと試合に望みました。しかし、今回も仕事が忙しくて練習も十分にやれず、初日が終わった昨日も東京の職場に戻り、埼玉の家に帰ったのは夜中でした。でも、だからこそ、力みがなくてよかったのかもしれない。練習も十分に積んで勝ちたい気持ち

ちが強くあると、気合いが入りすぎて結果がよかったとは限らなかったでしょう。社会人として仕事もきっちりこなしていたからこそ勝てる。そこにプロとは違うアマチュアの大会の良さがあるのかもしれない。」

豊島選手は168センチ、60キログラムのスリムなボディの31歳。飛距離はさほど出るほうではなく、アプローチで拾っていく、コースマネジメントの巧みさで勝負する頭脳ゴルフ。豊島選手のそうした オールドマンパー (パーおじさんを相手に戦う) のゴルフは、まるでボビー・ジョーンズのように、アマチュアならば誰もが手本にしたいゴルフであった。



優勝を決めほっとする豊島 豊選手 (東千葉)

平成20年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成20年9月24、25日 ●開催倶楽部 東京ゴルフ倶楽部 6,904ヤード パー72

エントリー144名/出場者138名/欠場者6名

主な成績 (日本ミッドアマチュアゴルフ選手権出場有資格者)

Table with 6 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Lists top 23 players including Takahashi Takahiro and Akiyama Kazuo.

Table with 6 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Lists players ranked 23 to 40.



■平成20年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

ベテラン対決は宮辰夫選手の 逆転2連覇で決着

文／森口静彦（KGA広報委員会副委員長）
写真／塚越克一、増田収（KGA広報委員）

大会会場の大利根カントリークラブは茨城県の南西部、利根川と鬼怒川に挟まれた肥沃な扇状地に展開する。

その昔、関東の英雄、武道の神様と崇められていた平将門ゆかりの地。

今大会で将門のご加護を受けるシニアは、果たして誰か？

年々高まるシニア競技熱 スコアも飛躍的に向上

今年度の予選競技は7月7日から9日にかけて6会場に798名がエントリーして行なわれた。昨年は5会場であったが、高齢化現象を反映し年々シニアゴルファーが増えている対策として会場をひとつ増やした結果、エントリーは15名

増加。予選通過者133名にシード選手9名が加わり、合計142名で10月2日から3日、決勝競技が行なわれた。

会場は大利根カントリークラブ東コース（全長6835ヤード・パー72）。井上誠一設計により、昭和35年10月開場以来、数々の大会の名舞台となってきた。近いところでは、昨年度の関東ミッドアマ（西コース）の会場となった。

関東シニアについては今から43年前の、昭和40年度大会の会場（西コース）となり、深川森武選手（霞ヶ関）が1日目122、2日目127の計249で優勝を飾っている。

このスコアにびっくりするかも知れないが、当時は54ホールであったから単純に36ホールベースに換算すると166打、22オーバーとなる。

記録だけを比較すると、昨年の大会の順位では105位タイとなり、最下位（127位）から数え

平成20年度

関東シニアゴルフ選手権決勝競技

た方が早い。昨今のシニア選手の技術の進歩、そして体力の向上は隔世の感がある。

初日から大激戦！横一線でゴールへ

大会初日、今年の夏の記録的な暑さも10月の声を聞くと「秋来ぬと目にはさやかに見えねども……」で、この日の正午の気温20.9度は絶好の競技日和だった。

初日の競技経過はインスタートの強豪、神戸誠選手（太田双葉）が13番のパー3でパーディー、16番パー5でイーグル、2ボギーの1アンダーで折返し、アウトを1パーディー、1ダブルボギーの1オーバー、通算パープレーで上がり単独トップ。2位タイには5選手が並んだ。7位タイの74には前年度ルーキー優勝を果たした宮辰夫選手（習志野）のほか3選手。11位タイの75には密かに優勝を狙う阪田哲男選手（袖ヶ浦）も控えている。

一方、今年55歳となり、参加資格を得たルーキー選手10名のうち、ベストは杉田努選手（GMG八王子）の76。70台で上がったのはわずか3名だった。残り7名はいずれも80台で、10名の平均スコアは82.6であった。試合巧者のベテラン健在を印象づけた結果となった。

ファイナルラウンドの10月3日の天候は晴れ、気温20.5度、南東の風で風速3km/h。最終組は神戸、大辻、岩井、井端の4選手。その一つ前の組には桜井、矢吹、宮、大関の4選手。連覇を狙う宮選手は前回と同じく1組前であった。トップから4打差までが5組、20名の大混戦状態となった。

結果はベテランの宮選手がただ一人、71の1アンダーでラウンドして、神戸、桜井選手に2打差をつけて優勝。昨年に引き続き2連覇を達成した。

ベテラン強し 心技体に万全の準備

ベテラン勢の強さは、単なるキャリアだけではない。前日にこんな光景を目撃した。

1打差でトップに立った神戸選手は、日没が迫る時刻まで、練習グリーンでひとり黙々とパット練習を続けていた。ショートパットがカギになると感じていたのだろう。

「明日はスコアを意識して、攻めたくなくなるときは控えるかもしれません。そこで自分をどうコントロールできるかが課題でしょう。」（神戸選手）

いくら実績のある選手でも、タイトルを目の前にすると、平常心ではいられないのだろう。神戸選手は、そういった精神状態になることを覚悟しているようだった。

はたして最終日、神戸選手のショットはスタートから安定性を欠いた。2番のボギーに続き、4番では4パットでダブルボギー。7番のパー



16番ホール、宮辰夫選手



2位タイ 神戸 誠選手

2位タイ 桜井 延昭選手

4位 山下 勝紀選手

わってみれば、桜井選手とともに2打差の2位タイには、神戸選手がしぶとく入っていた。

池ポチャの7番では打ち直し後、第4打のアプローチがチップインをして切り抜けたあとは1バーディー、ノーボギーで、最後まで勝負を諦めてはいなかったのだ。その姿勢に、

周辺からは「さすが！」と感嘆の声が挙がっていた。

ハウスカディールと二人三脚

優勝した宮選手は勝因のひとつに、同組に付いたハウスカディールの樋口哲雄さんの存在を挙げた。樋口さんはもともと大根C Cの研修生出身で、プロゴルファーのキャディーを務めるほど信頼されている。この日も正確なパッティングラインの読みで、同組のプレーヤーを助けていた。

「ラウンド後に教えてくれたんですよ。実は、樋口さんは最終組の神戸さんとは30年来のお付き合いで、研修生時代からずっとお世話になっていると。」(宮選手)



ラインをキャディーと読む宮選手(左)
優勝 宮選手の最終ホールでのパット(右)

3ではティーショットをダフって、ボールはグリーン手前の池に……。

その間にトップに立ったのは同じ最終組で、アウト9ホールをすべてパーとした岩井選手。1打差の2位タイには宮選手と、平成16年度にこのタイトルを取っている桜井選手が並ぶ展開となった。

勝負のバックナイン。岩井選手は10番、12番、13番でボギーを叩き後退。一方、宮、桜井の両選手は、14番を終えて3オーバーでトップを並走する。

「難しいコースですから、後半はしぶとくパーを拾って、チャンスがきたときに、ひとつでもスコアを伸ばせば優勝の可能性があったと思っていました。」(宮選手)

そのチャンスが15番、16番と連続でやってきた。ともに2打ほどのバーディーパットを確実に沈めた宮選手が、桜井選手を1打リードして最終ホールへ。

一方の桜井選手は、その最終ホールのティーショットに勝負をかけた。ところが、渾身の力を込めた一打は上体が起き上がり、ボールは右の深いラフへ。

「勝負を賭けた一打ですから、仕方ありません。」(桜井選手)

結果的に、その時点で勝負ありとなった。終

大根カントリークラブの タフなラフが成否を別けた

名コースで知られる大根C Cだが、今大会ではよりタフな舞台にセッティングされていた。なかでも6〜7割にカットされたラフは、芝の密度が高い上に、太い茎がまっすぐに立った状態。通常のセカンドカットの深さなのに、ボールが吸い込まれると、真上から見ないとボールが確認できないこともあった。

「ラフは深いとは思いませんが、所々で密生していて、そこに打ち込むとクラブを振りぬくのも大変。それでグリーンが硬いから……。ティーショットを曲げないことですね」(中島廣行選手)

「例年より、ラフの茎が太いような気がします。このラフからでは、グリーンを狙うのは難しい」(神戸選手)

優勝した宮選手も「ラフに打ち込まないために、いかに安定したティーショットを放てるかと、手探りの状態でプレーした2日間でした」と述懐する。どのプレーヤーも、ラフとの戦いを強く意識していたことは間違いないようだ。



その樋口さんの態度は特筆ものだ。「もともと最終組か、その前の組に付く予定だったんですが、試合を公平にするために、僕は神戸さんの前の組に付かせてもらいました。」

30年来の付き合いである。もし神戸選手の組に付いたならば、神戸選手は同伴競技者よりも樋口キャディーのアドバイスを的確に読み取れ

たかもしれない。実際はどうか分からないが、樋口さんは公平さを期すために、別の組に付いたというのだ。

「すべてにおいて素晴らしいキャディーでした。勝因のひとつは彼の力です。」(宮選手)

果たして、今回の逆転劇の伏線だったのかもしれない。

平成20年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成20年10月2日、3日 ●開催倶楽部 大根カントリークラブ・東コース 6,835ヤード パー72
エントリー 142名/出場者 134名

日本シニアゴルフ選手権出場資格者

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|-------------------|--------|--------|-----|
| 1 | 宮 辰夫 | 習 志 野 | 74 | 71 | 145 |
| 2 | 神戸 誠 | 太 田 双 葉 | 72 | 75 | 147 |
| 2 | 桜井 延秋 | 新 千 葉 | 73 | 74 | 147 |
| 4 | 山下 勝紀 | 扶 桑 | 74 | 74 | 148 |
| 5 | 大辻 孝司 | 央 戸 ヒ ル ズ | 73 | 76 | 149 |
| 5 | 岩井 正一 | 習 志 野 | 73 | 76 | 149 |
| 7 | 井端 和生 | 大 熱 海 国 際 | 73 | 77 | 150 |
| 7 | 白井 敏夫 | 総 武 | 74 | 76 | 150 |
| 9 | 杉田 努 | G M G 八 王 子 | 76 | 75 | 151 |
| 9 | 秋元 嘉夫 | レ イ ン ポ ー | 76 | 75 | 151 |
| 9 | 羽切 理光 | 富 士 宮 | 76 | 75 | 151 |
| 9 | 阿部 逸朗 | 鶴 舞 | 76 | 75 | 151 |
| 13 | 平石 定夫 | 都 留 | 75 | 77 | 152 |
| 13 | 矢吹 元良 | ゴ ー ル デ ン レ イ ク ス | 73 | 79 | 152 |
| 13 | 藤崎 和典 | 富 士 笠 間 | 76 | 76 | 152 |
| 16 | 寺村 義美 | ス プ リ ン グ フ ィ ル ズ | 78 | 75 | 153 |
| 16 | 浜橋 基樹 | 戸 塚 | 77 | 76 | 153 |
| 18 | 染谷 健市 | 扶 桑 | 78 | 76 | 154 |
| 18 | 根本 昭廣 | 鎌 ヶ 谷 | 77 | 77 | 154 |
| 18 | 阪田 哲男 | 袖 ヶ 浦 | 75 | 79 | 154 |
| 18 | 松山 信彦 | セ ゴ ビ ア | 76 | 78 | 154 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|-------------|--------|--------|-----|
| 22 | 伊藤 幸信 | 入 間 | 80 | 75 | 155 |
| 22 | 山本 五郎 | 土 浦 | 80 | 75 | 155 |
| 22 | 石井 孝一 | 千 葉 夷 隅 | 78 | 77 | 155 |
| 25 | 原 繼雄 | 横 浜 | 81 | 75 | 156 |
| 25 | 延田 政弘 | 東 千 葉 | 79 | 77 | 156 |
| 25 | 西田 豊明 | 富 士 小 山 | 79 | 77 | 156 |
| 25 | 木村 芳雄 | 埼 玉 国 際 | 82 | 74 | 156 |
| 25 | 大関 利男 | 千 葉 | 74 | 82 | 156 |
| 25 | 小川 透 | 岡 部 チ サ ン | 76 | 80 | 156 |
| 31 | 安部 俊人 | 春 日 居 | 83 | 74 | 157 |
| 31 | 上重 修 | 東 千 葉 | 80 | 77 | 157 |
| 31 | 工藤 利明 | 埼 玉 国 際 | 81 | 76 | 157 |
| 31 | 富田 久三 | 茨 城 パ シ ッ ク | 79 | 78 | 157 |
| 31 | 水津 登 | 扶 桑 | 80 | 77 | 157 |
| 31 | 鈴木 敏藏 | 美 里 | 81 | 76 | 157 |
| 31 | 指田 博 | 多 摩 | 78 | 79 | 157 |
| 38 | 那波芳比古 | チャームング藤岡 | 80 | 78 | 158 |
| 38 | 丹野 富壽 | 伊豆 なら や ま | 81 | 77 | 158 |
| 38 | 松下 博 | 飯 能 | 77 | 81 | 158 |
| 41 | 川端 和憲 | 小 千 谷 | 81 | 78 | 159 |

■平成20年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

南雲真理選手が 見事2連覇!! 2位に9打の 大差をつけて圧勝

初の試みとして、女子委員を中心に運営

文/西田美千子 (KGA広報委員)
写真/増田 収 (KGA広報委員)

KGA主催競技では初めての試みとして、女子委員を現場責任者として組織、運営された。男子委員はサポート役、アドバイザー役に。「女子選手にいい思い出を作ってもらえるよう、女子委員を中心に円滑に進めてください」野口正三競技委員長長の挨拶には励ましが込められていた。女子委員たちの思いなどをレポートする。

山梨の若きエース、 小宮陽子選手が飛び出す

決勝競技は難コースとしても知られる箱根カントリー倶楽部を舞台に、素晴らしいコースコンディションのもと10月14日、15日に開催された。競技前、関係者の中で優勝候補の筆頭に挙げられていたのは、平成17年度(05年)に続いて、昨年2度目の優勝を果たした南雲真理選手(岡部チサン)だった。過去の競技実績に加え、南雲選手は7月に箱根カントリー倶楽部のメンバーになり、研修会メンバーとして倶楽部競技も5~6度経験している。コースの攻め方、グリーンの特徴を知っているという点で優位にあることは間違いない。それでも、最近の女子ミッドのレベル向上には目を見張るものがある。よ



優勝者 南雲 真理選手

り若い世代から強力なライバルが飛び出さないと限らない。

初日。昼前から弱い雨が降り続き、次第に肌寒さを感じさせるあいにくの天候。そうした悪条件のなか、72ストロークという素晴らしいプレーでトップに躍り出たのが、若手の小宮陽子選手(都留)だった。



5位入賞 小宮選手

山梨県の今年の国体代表選手でもある小宮選手は2バーディー・2ボギーの成績で、平田悦子選手(カレドニアン)、そして南雲選手に3打差をつけ、最終日を迎えることになった。



秋晴れの箱根カントリー倶楽部

ラインを読む南雲選手

南雲選手のバット

大差には気を抜かず ホームコースの強み発揮

最終日の朝は前日の雨も上がり、秋も深まりつつある箱根の山々には幻想的な朝霧がたちこ

める絶好の天候となった。

前記4選手が最終組で優勝を争う展開となったが、小宮選手にはやはりプレッシャーがあったのだろう。1番(375ヤード)パー4でダブルボギーのスタート。全体に強気に攻めるパッティングのラインを、読み切れていなかった。彼女はその後も立ち直る気配を見せず、後退してしまった。

代わって首位に立ったのは、やはり本命の南雲選手だった。最終組の同伴競技者がボギーを先行させるなか、圧巻は3番ホール(405ヤード)パー4で、残り170ヤードを11番ウッドで直接カップインさせてイーグルを記録。通算1オーバーとして、その時点で2位の平田選手を3打リードした。

勢いに乗った南雲選手はその後も快進撃を続け、安定したプレーで最終日は1イーグル、3バーディー、3ボギーの70ストローク。通算3オーバーで、2位の平田選手に9打の大差をつけての圧勝。大会2連覇を飾るとともに、8回を数



優勝 南雲選手の
セカンドショット

バットが決まってにっこのり
2位入賞平田選手

えるこの大会で、3度目の栄冠に輝いた。

勝因は“大人のゴルフ”と南雲選手

南雲選手の優勝のコメントは、「このコースでは、いつも白ティーでラウンドして80台のスコアですから、勝てるというイメージはありませんでした。私はもともと左利きなので、ラウンドの終盤になるといつも右肩が動かなくなり、カット打ちになってしまうので、今回は最後まで右肩を回すこと。それと昨年までは距離を合わせに行くパッティングが多かったので、結果を考えずに思い切りパットすることを目標にプレーしました。」

メンタル面でも、いい緊張感のなかにもリラックスしたプレーができたそうだ。「これまでは競技のなかで“すべきこと”ではなく、例えば“飛ばすこと”にこだわっていたのですが、今回は距離が出なくても構わないと“大人のゴルフ”ができたのかもしれない（笑）。このコースはグリーンが難しく、2位に9打差といっても、ひとつ歯車が狂えばどうなったか分かりません。逆の展開もあり得ました。同伴競技者の皆さんも素晴らしいプレーをされていたので、最後まで気は抜けませんでしたね。本当に女子ミッドのレベルが上がってきたことを実感しています。」（南雲選手）

**加藤副委員長と各委員が語る
女子主体の運営に込めた思い**

加藤副委員長「女子の競技運営は、男子委員のバックアップを受けながら、女子委員主体で行えたらとずっと思っていました。」

岩田委員「男子委員の方が一歩引いてくださり、今回初めて責任感とともに、やりがいのあるお仕事ができました。ホールロケーション決めでは女子委員がIP地点に立ち、男子委員と意見を交わし、勉強をさせてもらいながら決めていきました。」



岩田淳子委員（左）、加藤勝栄副委員長（右）

加藤副委員長「女性には、男性とはまた違う細やかさがあります。そうした女性の感性を運営に生かせないものかと、かねがね思っていました。」

岩田委員「その思いを委員の皆さんが盛り上げてくださり、今年の子選会から任せていただける運びとなりました。約30年間、選手として競技に出て、ときに『なんで、このセッティング?』と疑問に思うことがありました。」

加藤副委員長「今まで男子委員のサブとして様々な競技会場に足を運び体験し、試合開催に向けてのノウハウが生きましたね。」

岩田委員「女子の目線でホールロケーションやティーマーカーの置き方、前日・当日のホールチェック、基本的な歩測の仕方からすべて、一から勉強させてもらいました。多少のミスがあっても、すぐに助けてくださった男子委員の方には心から感謝いたします。今回、勉強したことは、次の機会に結実させたいという思いでいっぱいです。」

加藤副委員長「今後は若い女子委員にも加わってもらって、女子委員による運営のレベルをどんどん高めていきたいですね。」

そのためにもKGAとして女子の研修する機会を設け、そこで研修した女子委員が各都県や倶楽部の、競技の時に指導的な立場で普及していければ、やがては他の地区連盟にも広がっていくことだろう。

大会を無事終えて、各委員の感想を取材順に

紹介しよう。

阿部委員「無事終えてホッとしております。反省点はありません！今は充実感でいっぱいです。これも、素晴らしい先輩方に引っ張ってもらったお陰と感謝しております。」

近藤委員「これまでしたことのないお仕事をさせていただき、すべてが勉強になりました。いまは充実した気持ちだけです。」

天野委員「今回の成功は加藤副委員長を中心に、チームワークがとっても良かったお陰だと思います。こうした機会を今後も作っていただき、そのなかで私も頑張りたいと思います。」

木村委員「皆さんが協力してくださったので、苦勞したという思いはありません。もっと勉強したいという気持ちになりました。」

橋本泰子委員「以前から管理運営研修会で勉強をさせていただいた、ホールロケーションを実際にやらせていただき、また運営のキャップというお仕事もさせていただきました。男子委員

のサポートのお陰もあって、すべてスムーズに終えることができたと思います。ホールロケーションでは、優勝スコアをパープレーと考えていましたので、その通りの素晴らしい成績だと思います。」

岩田委員「今日はインのセッティングを担当しました。日本女子ミッドにつながる競技として16、17、18番は難易度を少し上げ、ドラマが起るようなセッティングにしたつもりですが、実際にそのような結果になりました。これまで勉強してきたことが活かされたと思っています。」

今回のコースセッティングに当たった加藤勝栄副委員長は、「コースマネジメントを知り、14本のクラブを駆使してゲームメイキングができる人がいいスコアを出せるようにセッティングしたつもりです。女子ミッドではそうしたプレーヤーなら、アンダーが出てもいいと考えています。南雲選手の優勝は、まさにそれでした。」

平成20年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成20年10月14日、15日 ●開催倶楽部 箱根カントリー倶楽部 6,286ヤード パー-72

エントリー 128名/出場者 124名

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|-------------|--------|--------|-----|
| 1 | 南雲 真理 | 岡部 チサン | 75 | 70 | 145 |
| 2 | 平田 悦子 | カレドニアン | 75 | 79 | 154 |
| 3 | 鎌塚 美幸 | 富 里 | 77 | 79 | 156 |
| 3 | 森山 明子 | 石 坂 | 75 | 81 | 156 |
| 5 | 後藤 弥生 | 京 | 80 | 77 | 157 |
| 5 | 小宮 陽子 | 都 留 | 72 | 85 | 157 |
| 7 | 花田 里子 | 紫 塚 | 82 | 76 | 158 |
| 7 | 南 陽子 | 慶 彦 スリー | 80 | 78 | 158 |
| 7 | 荒木 幸恵 | 大 厚 木 | 79 | 79 | 158 |
| 10 | 本宮あゆみ | ニ ッ ソ ー | 81 | 78 | 159 |
| 10 | 関根奈穂美 | セントラル | 77 | 82 | 159 |
| 12 | 松山奈津江 | 鹿 沼 7 2 | 84 | 76 | 160 |
| 12 | 小池 佳代 | 立 川 国 際 | 81 | 79 | 160 |
| 12 | 折茂由美子 | 鹿 沼 沼 | 80 | 80 | 160 |
| 12 | 上野美恵子 | 裾 野 | 80 | 80 | 160 |
| 12 | 香澤 良子 | 江 戸 崎 | 76 | 84 | 160 |
| 17 | 栗原美佐枝 | 小 田 原 ・ 松 田 | 83 | 78 | 161 |
| 17 | 笹生 重子 | 東 千 葉 | 83 | 78 | 161 |
| 19 | 加藤 理刈 | 伊 豆 大 仁 | 82 | 80 | 162 |
| 19 | 山本美恵子 | 成 田 東 | 86 | 76 | 162 |
| 19 | 新保 美樹 | 新 千 葉 | 81 | 81 | 162 |

日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権出場有資格者

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|-----------|--------|--------|-----|
| 19 | 落合 麻紀 | 箱 根 | 83 | 79 | 162 |
| 19 | 松山菜穂子 | 彩 の 森 | 82 | 80 | 162 |
| 19 | 佐々木祥子 | 妙 高 | 76 | 86 | 162 |
| 25 | 西名 里佳 | 東 千 葉 | 83 | 80 | 163 |
| 25 | 上野 真紀 | 紫 塚 | 82 | 81 | 163 |
| 25 | 松本 京子 | 鳩 山 | 82 | 81 | 163 |
| 25 | 杉浦ちえみ | 寄 居 | 79 | 84 | 163 |
| 25 | 藤本 マサ | カレドニアン | 82 | 81 | 163 |
| 30 | 原口莉絵子 | 彩 の 森 | 82 | 82 | 164 |
| 30 | 細野ハツ季 | 沼 津 | 79 | 85 | 164 |
| 32 | 入江 佳子 | 磯 子 | 85 | 80 | 165 |
| 32 | 八木美智代 | ミ オ ス 菊 川 | 85 | 80 | 165 |
| 32 | 田中 真弓 | 成 田 東 | 81 | 84 | 165 |
| 32 | 鎌木 友子 | 成 田 東 | 86 | 79 | 165 |
| 32 | 金子 弥生 | 東 名 厚 木 | 82 | 83 | 165 |
| 37 | 横山亜弥子 | 浦 和 | 85 | 81 | 166 |
| 37 | 吉田 真理 | 大 相 模 | 85 | 81 | 166 |
| 37 | 吉田ケイ子 | 武 蔵 | 86 | 80 | 166 |
| 37 | 上野 千鶴 | ゴールデンレイクス | 80 | 86 | 166 |
| 41 | 平林 治子 | 都 留 | 83 | 84 | 167 |
| 41 | 小坂 順子 | 千 葉 | 86 | 81 | 167 |



■平成20年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

小林禎一郎選手が 終始安定したプレーで 初のKGA個人タイトルに輝く

平成20年度関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技は、10月8日、9日の両日、朝霧ジャンボリーゴルフクラブの富士コースと甲斐コースを舞台に実施された。今年度の大会には359名の参加者があった。この数字は5年前の約2倍で、そのため予選会場は今年から1会場増え、全3会場となった。そして、そのなかから137名の選手が決勝競技の出場権を獲得した。この大会の参加人数は今後



2位の金澤正幸選手



金澤選手の最終ホールのティーショット

も増加すると思われる。それにつれて、競技のレベルが上がることも間違いないだろう。まずは熱を帯びるミッドシニア界だが、初日に15名もの欠場者があったことは、大変に残念なこととして報告しておきたい。無論、それぞれに理由（体調不良との届けは2名のみ）があったのだろうが、ゴルファーとして下の世代に範を垂れる立場であり、また各予選会場の代表者

という立場から、反省の余地はあるだろう。

試合巧者ぶりが光った優勝者

大会初日、途中から風が吹き始め、また気温も下がったためか、上位陣が意外に混戦とはならず、またその上位陣を追う位置の選手数も予想外に少なかった。首位に立ったのは地元の小林禎一郎選手（富士チサン）で、スコアはパー

競技ゴルフ歴わずか3年

小林禎一郎選手が示したミッドシニアの可能性

現役時代は公務員だった小林禎一郎選手（昭和14年＝1939年生まれ）がゴルフを始めたのは28歳のとき、職場の先輩に勧められてのこと。以降、ゴルフは週1ペースでプレーする、いわゆる“サラリーマンゴルファー”。KGA競技も倶楽部対抗には以前から出場していたが、個人戦は同じ倶楽部の友人に誘われて出場したのがきっかけ。2年前の平成18年度関東シニアゴルフ選手権で決勝競技（戸塚カントリー倶楽部）に進み、いきなり5位に。小林選手はそこで初めて、「自分にもできるのかな？」と競技ゴルフへの自信を深めたという。

それまで倶楽部競技どまりで公式競技の経験がないゴルファーでも、シニア～ミッドシニアになってから台頭する（才能を開花させるというべきか）というのは、何とも刺激的な話ではなかろうか。他の競技には見られない、ゴルフならではの可能性のように思いたい。

最終ホールでバーディーパットを狙う小林選手



小林選手は、昨年初めて関東ミッドシニアに出場し、14位タイ。その成績で進んだ日本ミッドシニアでは、初日、69ストロークの好成績でいきなり首位に立った。ところが、「全日本のタイトルに、緊張してしまっただけ。」（小林選手）と振り返るように、2日目は77ストロークとスコアを崩し、結果、トップに2打差の3位タイに終わってしまった。

しかし、今大会で終始自分が描いたゲームプラン通りに進められたのは、「昨年の苦い経験が役に立ったんだと思います。」と小林選手。

今後は、来年グランドシニア入りするので、その公式戦タイトルと「公式戦でエージシュートを出してみたいですね。」ということを目指し、ますますゴルフに打ち込みたいとのことだ。

プレーの72ストローク。以下、2位は73ストロークの金澤正幸選手（白帆）、3位は74ストロークの山田勲選手（東千葉）。さらに75ストロークで澁谷重氏選手（新千葉）と永井明選手（クリアビュー）が続いたが、それら上位陣に次ぐ77~79ストロークに位置する選手の数、関係者の予想よりもやや少なかった。

大会最終日、天候は晴れ、微風で気温も前日よりはやや高い24.0度と文句のないゴルフ日より。そんななか優勝の行方は最終組を中心に、初日77ストロークまでの10名（最終から4組目まで）かと思われた。だが、後ろから5組目でプレーする、初日78ストロークの小川透選手（岡部チサン）がスタート直後から飛び出した。小川選手はシニア界でも名を馳せる、今年のミッドシニアルーキー（昭和18年=1943年生まれ）。その実力の高さをいきなりスタートホールで“イーグル”という形で示すと、アウトを32ストローク、通算2オーバーでプレー。あとに続く、上位陣にプレッシャーを掛けた。

しかし、最終組の4人が互いに素晴らしいプ



最終日、1番でイーグルを記録、ボールを拾い上げ、笑顔を見せる小川選手。

レーで一步も引かない展開となった。首位スタートの小林選手は前半の9ホールを2バーディー、1ボギーで通算1アンダーまでスコアを伸ばすも、それを追う山田選手も2バーディーで通算イーブンパー。また、金澤選手はパープレーで通算1オーバー、澁谷選手は1バーディーで通算2オーバー。実力伯仲の混戦模様となった。

ところが、インに入ると展開が急に動き出した。小林選手を除く3選手がボギーを先行したのだ。そのなかで、前半2位につけていた山田選手は、13番（358ヤード）パー4で、3パットのダブルボギーを叩くと、以降はボギーが続いてしまった。

「バーディーを狙わざるを得なかったので仕方ないのですが……。終盤はパッティングラインの難しい方に、難しい方に行って、流れを変えることはできませんでした。」（山田選手）

朝霧ジャンボリーゴルフクラブのグリーンは、全体に複雑なアンジュレーションがあり、慣れないプレーヤーにはラインを読むのが難しかったようだ。自分の読みとは違うラインをキャディーにアドバイスされ、ラインを決めかねたままパッティングするシーンが何度か見られた。

そうしたなか、終始安定したプレーを見せたのが優勝した小林選手だった。最終ホール（541ヤード）パー5こそ、「もちろん他の組のスコアは分かりませんが、（小川）透さんは2オーバーということは耳にしましたし、同じ組の金澤さんは1オーバーだったので、このままでも（通算1アンダー）優勝だろうとは思っていました。それで、（その安心感から）ついバーディーを狙いに行って……。返しのパットはちょっと雑に打ってしまいましたね。」と苦笑する小林選手。結局、返しのパーパットも外してボギーとし、通算イーブンパーで競技を終えた。

しかし、このホールも含め、ほとんどのホー

競技者の目を通して

KGA委員が感じたこと

ミッドシニアゴルフ選手権は、多くのKGA委員が選手として参加する大会でもある。普段は競技を運営する側の人間が、プレーする側として大会に参加して、競技運営にどんな感想を抱いたのだろうか。KGA委員が、KGA競技をプレーする立場から見て気が付いたことを聞いてみた。

まず、広報委員の増田収選手（大相模）は、「関係者のご苦勞が判っているため、感謝してプレーしています。競技運営については競技の主役は選手なので、予選会、決勝戦を通して選手が実力を思う存分発揮出来る環境を整えてあげることが大事なんだろうね。公式戦でゴルフが出来るということは、ゴルフア



同伴競技者のティーショットを見つめる増田選手

として何よりも嬉しいことですから。」

また、KGA競技委員の船越茂人選手（スプリングフィールズ）は次のような感想を述べてくれた。

「私なんかはどうかと思いますが……。競技者としての素直な

感想を言わせてもらえれば、コースセッティングは今回のようにタフななかにも、挑戦しがいのあるセッティングでなければ、と改めて思いましたね。そのためには距離にしても、ホールロケーションにしても、一定の基準を示すマニュアルを設け、その範囲のなかでコースやそのときの気象条件、そして出場選手のレベルに合わせて柔軟に調整できる仕組みを作るという方法もあらうと感じました。」

こうした競技者からの視線は、今後、競技運営に反映されていくことだろう。



船越選手のティーショット

ルでピン手前にパーオンさせるゴルフで、まったく崩れる気配を見せなかった。

「地元で良く知っているコースなので、その分、他の方より有利だったと思います。ここはピンの奥に乗せると難しいので、とにかくピンの手前に乗せることを考えてプレーしました。欲張

らずに、パー狙いに徹したのが良かったのでしよう。」（小林選手）

終わってみれば2位・金澤選手との差はわずかに1ストロークだったが、今年の関東ミッドシニア選手権は小林選手の試合巧者ぶりが光った大会だった。

平成20年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成20年10月8日、9日 ●開催倶楽部 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ 富士・甲斐コース 6,568ヤード パー72 エントリー 137名/出場者 122名

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|--------|-------|--------|--------|-----|
| 1 | 小林 謙一郎 | 富士チサン | 72 | 72 | 144 |
| 2 | 金澤 正幸 | 白帆 | 73 | 72 | 145 |
| 3 | 高安 信行 | 大洗 | 76 | 70 | 146 |
| 3 | 小川 透 | 岡部チサン | 78 | 68 | 146 |
| 5 | 河本徳三郎 | 相模原 | 79 | 70 | 149 |
| 5 | 澁谷 重氏 | 新千葉 | 75 | 74 | 149 |
| 7 | 扇 徳男 | 富士箱根 | 77 | 73 | 150 |
| 8 | 村松 賢次 | 富士チサン | 77 | 74 | 151 |
| 9 | 山田 勲 | 東千葉 | 74 | 78 | 152 |
| 10 | 徳永 一充 | 龍ヶ崎 | 79 | 74 | 153 |
| 11 | 森山 茂雄 | 横浜 | 80 | 74 | 154 |
| 11 | 増田 収 | 大相模 | 78 | 76 | 154 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|--------|--------|--------|-----|
| 11 | 金本 勇 | 岡部チサン | 78 | 76 | 154 |
| 11 | 永井 明 | クリアビュー | 75 | 79 | 154 |
| 15 | 佐藤 政秀 | 筑波学園 | 77 | 78 | 155 |
| 15 | 深澤 貞夫 | 富士チサン | 79 | 76 | 155 |
| 15 | 神村 雅臣 | 藤ヶ谷 | 79 | 76 | 155 |
| 15 | 管 克久 | 清川 | 79 | 76 | 155 |
| 15 | 堀内 康宏 | 穂高 | 79 | 76 | 155 |
| 15 | 小澤 達 | 東京湾 | 77 | 78 | 155 |
| 21 | 中村 清 | 水戸 | 80 | 76 | 156 |
| 21 | 稲田 一男 | 栃木 | 80 | 76 | 156 |
| 21 | 松岡 和哉 | 東京よみうり | 80 | 76 | 156 |

■平成20年度 第14回 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権 —KGA杯—決勝競技(男子Aクラス、男子Bクラス)

快晴の大洗ゴルフ倶楽部に交流の輪 和気あいあいの 祭典を楽しむ

文/堺 莞太郎 (KGA広報委員会参与)
写真/塚越 克一 (KGA広報委員)

11の都県ブロック大会を勝ち抜いた133選手が、難コースで知られる大洗ゴルフ倶楽部に集結した。競技はA、Bクラス別だが、試合の雰囲気はこの日の天候のように和やかだった。



難攻不落の名コースに 133名の選手が挑む

競技当日の大洗ゴルフ倶楽部は快晴無風。半袖の選手もいるほど温暖な陽気だったが、北海道では平野部で今シーズン初めて、積雪を記録したとニュースは報じていた。

「いまは体感でも無風ですし、ピンフラッグも揺れていません。でも、高い松の枝がかすかに動いています。この風なら大洗の海はサーフィン日和。風の影響下の飛距離差は、半クラブほど(5~6フの増減)は出るでしょう。これからもう少し強くなりますよ。」

大洗ゴルフ倶楽部競技委員の関根洋治さんは「空にハザードがある」大洗特有の、海風の読みを教えてくれた。朝8時、Bクラスの選手の



男子Aクラス優勝 村岡孝選手 (左)
男子Bクラス優勝 加納和也選手 (右)

スタート時間が迫る。

「スコアカードは競技用のみを使用してください。転記すると誤記の恐れがあります。松林に打ち込んだら、暫定球を打ってプレーの進行をスムーズに。競技ですから、携帯電話の電源は必ずオフにしてください。」

スタートと集計を担当する豊泉幸夫競技委員の説明は、競技初参加の選手にもわかりやすいよう、的確にして軽妙な口調だった。これは野口正三競技委員長の、以下の指示に基づくもの。「アンダーハンディキャップ選手権は他競技と違い、試合に馴れていない選手が多く参加しています。そんな余裕がない人のために、競技委員はルール違反を未然に防ぐよう、指導的に選手と接してください。」

全長6798フの厳しい設定での名コースを、選手たちはどう攻略するのか。緊張を沈めるかのように、スタート地点では喫煙者がやけに目立つ。

定刻通り、競技開始。深い巨木の森に、ティーショットの快音が響く。中には暫定球を打つ際に「今度はボールナンバー、2番です」などと告げる選手もいる。すると豊泉委員は「暫定球

と宣言しないと、打ち直しの球が正球となりますよ。」と、やんわり笑顔で注意する。これだけでも選手は、緊張から開放されるようだ。「行ってらっしゃーい。楽しい1日を！」

ハンディ戦の面白み 直前での改正に悲喜こもごも

アウト3組目スタートの海藤好信選手(相模野)は、参加者中の最多ハンディキャップ25.6で出場。練習ラウンドをする時間的な余裕がなく、この日が大洗ゴルフ倶楽部に初挑戦とか。「家族、友人の応援を受けての参加です。競技経験がないので、やはり緊張しています。」

それでも落ち着いて、1番ホールのティーショットは低弾道で左ラフへ。

逆に、Aクラスの渡部千秋選手(塩嶺)のハンディは、スタート表には2.0と記載されていた。

「いえ、このハンディキャップは申込み時点のJGAハンディキャップです。今日は5.1で訂正済みです。長野から片道5時間、前泊しました。」

清水喜吉選手(上野原)はインの最終組の1組前でスタート。第1組とは2時間ほど空いているので、入念にバットの練習中。

「素晴らしいグリーンですね。冬目前ともなると、山梨県下のコースのグリーンは速さを増しますから、このスピードでも対応できるでしょう。」

群馬から日帰り参加の田村伸光選手(太田双

葉)は、この日に備えて新品のシューズを着用とか。

「乗用カートでのプレーが多いのですが、今日は歩きのラウンドです。研修会で事前に、シューズの履き心地を試しておきました。競技は倶楽部対抗で馴れています。あの団体戦の緊張からすれば、コースを楽しむ余裕があります。」

ベストドレッサー賞ものなら、全身を倶楽部のユニフォームで決めた石井富夫選手(埼玉)だろう。

「目立つからイヤだと言ったのですが、倶楽部の仲間が応援するもので……。アンダーハンディキャップ選手権は必ず参加するものの、都県ブロック大会を通ったり落ちたりで、去年は惜しくも入賞逃しの6位でした。競技が根っから好きで、チャンスがあればなんでも参加して腕を研ぎます。」

南長野ゴルフ倶楽部からは9人の選手が出場した。9月18日に開催された長野ブロック大会の会場とあって、会員が団結しての都県ブロック大会突破の快挙だろう。この日も準備は怠りなく、全員が大洗ゴルフ倶楽部のコースレイアウト図を持参していた。ホームページからプリントアウトしたもので、小冊子になっている。マイクロバスでの遠征の車中では、チームワークでコース攻略を研究したそう。ちょっと拝見すると、細かくメモが書き加えられていた。



Aクラス優勝 村岡 孝選手 Bクラス優勝 加納 和也選手



Aクラス2位 吉田 忠史選手 Bクラス2位 芝辻 清秀選手



揚野 正和選手 田中 正則選手 浜出 達弥選手

そのリーダー格の赤池良二選手のスタート表には、ハンディキャップ4.6とあった。「直前の改正により、ハンディキャップは1.9に下がりました。うれしい反面、これはショックですよ。チーム戦ではないのですが、仲間のためにもがんばります！」

アウト最終組の北澤健二選手（南長野）もハンディキャップが直前に1.9に下がったが、競技参加が楽しくてしょうがない様子。

「都県ブロック大会通過のほうが大変ですよ。仲間とのバス旅行はまるで遠足気分です。」

同組の石坂猛選手（十日町）も、新潟からの長距離遠征。

「来月には雪で、春までクローズ。こんないい天気にはラウンドできるだけで満足です。」

雪の話題では長野の北澤選手と会話が弾み、情報交換をしていた。

田村文哉選手（土浦）はハンディキャップ8.9で出場したが、結果は42位だった。

「都県ブロック大会は10.5で出場したのですが、その2日後に8.9になってシングル入り。大洗の松に厳しさを教えられて、表彰パーティーを楽しんで帰ります。」

もしハンディキャップ10.5で出場していれば、ランクは30位にアップした計算だ。ここがハンディキャップ戦の面白さだろう。

所属クラブがなくても広く門戸を開放

このアンダーハンディキャップ選手権の出場者リストを見ると、倶楽部会員以外に“神奈川県ゴルフ協会”の8人や“JGA 個人会員”9人

の表記が目立つ。ホームコースを持たないゴルファーにも、広く門戸が開放されているのだ。「神奈川県ゴルフ協会は例年、積極的にこの競技への参加をすすめています。9月22日に横浜カントリークラブ・西コースで開催された神奈川ブロック大会では、出場者の半分ぐらいはホームコースを持たない選手でした。」

神奈川県ゴルフ協会から出場の若いA選手は、地元神奈川では会員権取得が経済的に厳しいと、ノンクラブメンバーによる参加の機会を歓迎している。同じく和田忍選手も神奈川ゴルフ協会からの参加。

「スクラッチ競技以外でも、こういう機会を活かして参加でき、とても励みになります。」

KGA カード会員として出場の揚野正和選手は、インの最終組だった。

「たまたまKGA カード会員あてのダイレクトメールに競技の案内があり、参加を申し込みました。公式の大きな試合は初めてですが、初対面の皆さんが和気あいあい、気軽に楽しめました。しばらくゴルフを中断していましたが、8月1日にJGAハンディキャップを取得しました。」

JGA 個人会員として参加の田中正則選手は、この競技の常連。

「出だしの3ホールでハンディキャップを使い切りました。あとはコースをじっくりと味わう楽しみ。」

同じく都県ブロック大会突破の常連の浜出達弥選手（オリンピック）は、こんなふうにする。「都県ブロック大会のときは誰とも口を開かず、真剣そのものです。決勝はもう、参加章をいただければ満足です。」

観戦していて気づいたのだが、どの組の皆さんも初対面同士で、年齢差や出場地域が違うのに、知己の間柄のように仲がいい。これがアンダーハンディキャップ選手権の魅力だと実感した。

■平成20年度 第14回 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権 —KGA杯—決勝競技(女子Aクラス、女子Bクラス)

名コース・大洗ゴルフ倶楽部での初めての女子競技開催

写真/塚越 克一 (KGA広報委員)

平成20年度第14回関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技女子の部は、同男子の翌週の11月10日、同じく大洗ゴルフ倶楽部でA・Bクラスの競技が開催された。

大洗で目にした新たなシーン

55年の歴史を誇る大洗ゴルフ倶楽部において、女子競技にコースが開放されるのは今回が初めて。今大会の競技副委員長を務めた同倶楽部の鈴木泉理事は、表彰式の席上、「当コースには直径20センチ以上の松が約2万5千本あります。この松は黒松という種類です。普通、山に生えている松は赤松で、別名・雌松（メマツ）、女の松ですが、黒松はオトコ松と呼ばれています。ここのオトコ松がこんなに大勢の女性を見たのは、たぶん今回が初めて。今ごろ松はメロメロになっているんじゃないかと心配しております(笑)。」と洒落た挨拶で会場を沸かせていた。それだけに、参加者には、Bクラス優勝の水科裕

女子Aクラス優勝 別府砂織選手 (左)
女子Bクラス優勝 水科裕子選手 (右)

子選手（柏崎）のように、成績よりもコースを楽しみたいと挑戦された人は少なくなかった。そして、その結果だろうか、会場の雰囲気は終日、華やいだものとなった。

本競技では、これまで見られなかったシーンがもうひとつあった。それは受付で携帯電話のモニター画面を提示する選手たちの姿だ。

ご存じのように、本競技は今年からJ-sysによる

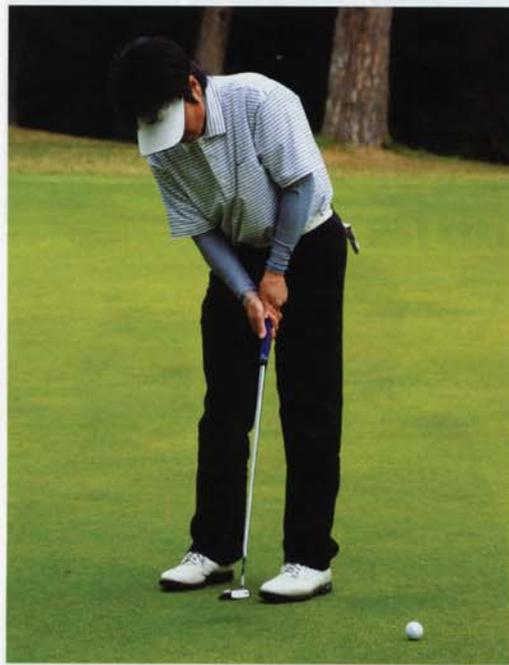


9番ホール

色鮮やかなバッグ



携帯でもハンディキャップ確認



別府砂織選手の優勝バット



水科裕子選手

JGAハンディキャップ取得が参加資格となった。そして、競技当日に受付で「最新のJGAハンディキャップ証明書」を提示するのだが、昨年までは書面の証明書を提出していたが、今回はモバイルJ-sysで「最新のJGAハンディキャップ」を提示する選手が全体の4分の1ほどもいた。情報ツールとしての携帯電話

が急速に浸透している今、モバイルJ-sysを利用する選手は、今後、急速に増えていくに違いない。

また、この傾向が普及すれば、多くのゴルファーが常にJGAハンディキャップを携帯することになり、ゴルフ場主催のオープンコンペをはじめ、一般の競技でもJGAハンディキャップが活用される可能性が出てくる。

大洗を存分に楽しんだ優勝者

さて、競技成績だが、Aクラスは別府砂織選手(サニー)が gross77、ハンディキャップ8.0、ネット69.0のスコアで優勝した。「大洗は今日が初めてで、怖さを知らず、キャディーさんのアドバイスどおりにプレーしたのが良かったと思います。」と勝因を明かす別府選手は、KGA主催競技にもたびたび参加する選手。同選手はこの大会の魅力について、「実力以上のことを狙わず、リラックスしてプレーできること。それと、決勝競技のコースは毎年、普段なかなかプレーできないコースばかりなので、それが楽しみです。」と語る。



なお、2位の三浦美礼選手 (GMG八王子) のスコアは gross83、ハンディキャップ13.9、ネット69.1で、1位との差はわずか0.1だった。また、3位の山口真美子選手 (JGA個人会員) は昨年に続く2年連続での3位入賞となった。

Bクラス優勝の前出・水科選手 (gross92、ハン



Aクラス 2位 三浦美礼選手 Bクラス 2位 井ノ川恵美子選手

KGAカード会員で広がるゴルフのチャンス

Aクラスで5位に入賞した横尾麻紀子選手は、KGAカード会員の資格で参加した選手。今回が4回目の参加となる。横尾選手は、当時習っていたプロの薦めもあり競技への出場を目指した。そのためのJGAハンディキャップ取得の資格として、KGAカード会員に入会した。そして、最初に挑戦した競技が4年前のこの大会。「練習ラウンドでプレーするときから、もうドキドキでした。」と振り返る横尾選手だが、そのとき一緒にラウンドした選手に親切に教えてもらい、そしてその選手と仲良くなったことから、競技ゴルファーの輪が一気に広がったという。「競技ゴルフを経験し、そこで同じような目標を持った方と知り合えたことで、ゴルフは見違えるほど上達しました。それと、普段からプレーに対する取り組み方が変わりました。いい加減なプレーはしなくなりましたね」

KGAカードを通して横尾選手のゴルフは大きく変貌したようだ。その末での5位入賞、おめでとうございます。



ディキャップ24.5、ネット67.5)は新潟からゴルフ仲間3人と計4人で、水戸と大洗周辺の観光を楽しんでからの競技参加。「ですから、優勝は思ってもみない結果です」と心から嬉しそうな表情をみせる。「とにかく、大洗でプレーできる楽しみばかりで緊張感がなかったのが勝因でしょう。」と語る水科選手だが、所属の柏崎も海岸沿いの林間コース。そのため、大洗の松林もプレッシャーにはならなかったと振り返る。なお、2位には井ノ川恵美子選手 (立科)、3位には古川真美選手 (津久井湖) がそれぞれ入った。

平成20年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技

●開催日 男子：平成20年11月4日 女子：平成20年11月10日

●開催倶楽部 大洗ゴルフ倶楽部

男子Aクラス 6,798ヤード パー72

男子Bクラス 6,798ヤード パー72

女子Aクラス 5,884ヤード パー73

女子Bクラス 5,884ヤード パー73

男子Aクラス エントリー79名/出場者76名

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|---------|-------|------|------|
| 1 | 村岡 孝 | 信濃 | 76 | 9.1 | 66.9 |
| 2 | 吉田 忠史 | 猿島 | 77 | 9.4 | 67.6 |
| 3 | 土屋 雅史 | 日高 | 80 | 12.0 | 68.0 |
| 4 | 星原 昌廣 | 相模野 | 76 | 7.7 | 68.3 |
| 5 | 鈴木 良信 | JGA個人会員 | 80 | 11.5 | 68.5 |
| 6 | 内藤 敏幸 | 千葉英陽 | 78 | 8.2 | 69.8 |
| 7 | 渡部 千秋 | 塩原 | 75 | 5.1 | 69.9 |
| 7 | 伊藤 暢 | JGA個人会員 | 80 | 10.1 | 69.9 |
| 9 | 高橋 健治 | 富里 | 81 | 10.9 | 70.1 |
| 10 | 小口 貴彦 | 諏訪レイクヒル | 81 | 10.7 | 70.3 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|----------|-------|------|------|
| 11 | 横田 浩司 | 高根 | 82 | 11.4 | 70.6 |
| 12 | 横山 義照 | 八幡 | 81 | 9.9 | 71.1 |
| 13 | 小野寺高夫 | 初穂 | 78 | 6.6 | 71.4 |
| 14 | 進藤 由樹 | JGA個人会員 | 84 | 12.2 | 71.8 |
| 15 | 田村 伸光 | 太田双葉 | 77 | 4.5 | 72.5 |
| 16 | 中澤 隆 | 妻沼 | 85 | 12.1 | 72.9 |
| 17 | 正木 弘道 | 猿島 | 83 | 10.0 | 73.0 |
| 18 | 半田 靖 | JGA個人会員 | 84 | 10.6 | 73.4 |
| 19 | 平岡 伸夫 | 新・天城につかつ | 84 | 9.9 | 74.1 |
| 20 | 青木 彬純 | 長野 | 86 | 11.5 | 74.5 |

男子Bクラス エントリー54名/出場者50名

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|-----------|-------|------|------|
| 1 | 加納 和也 | 東名厚木 | 91 | 25.4 | 65.6 |
| 2 | 芝辻 清秀 | 富士グリーンヒル | 94 | 24.0 | 70.0 |
| 3 | 成井 剛 | 境川 | 84 | 13.9 | 70.1 |
| 4 | 籠野 友司 | 富士 | 93 | 20.9 | 72.1 |
| 5 | 新田 和正 | JGA個人会員 | 89 | 15.3 | 73.7 |
| 6 | 大谷 隆 | 神奈川県ゴルフ協会 | 89 | 14.9 | 74.1 |
| 7 | 佐藤 邦城 | 鶴舞 | 94 | 19.8 | 74.2 |
| 8 | 伊藤祥二郎 | 立科 | 91 | 16.6 | 74.4 |
| 9 | 小川大太郎 | 武蔵野 | 88 | 13.2 | 74.8 |
| 10 | 石井 邦彦 | JGA個人会員 | 93 | 18.0 | 75.0 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|-----------|-------|------|------|
| 11 | 福井 澄雄 | 真名 | 92 | 16.5 | 75.5 |
| 12 | 高橋 克敏 | 阿賀高原 | 92 | 16.3 | 75.7 |
| 13 | 鈴木 幸男 | 千葉県アマ協会 | 90 | 13.6 | 76.4 |
| 13 | 片 忠夫 | 上野原 | 90 | 13.6 | 76.4 |
| 15 | 吉田 清志 | 寄居 | 89 | 12.5 | 76.5 |
| 16 | 大島 信夫 | ゴールデンレイクス | 91 | 14.4 | 76.6 |
| 17 | 海藤 好信 | 相模野 | 103 | 25.6 | 77.4 |
| 18 | 三森 卓 | 戸野 | 93 | 15.3 | 77.7 |
| 19 | 水留 茂 | 葉山国際 | 99 | 21.2 | 77.8 |
| 20 | 江川 茂 | 神奈川県ゴルフ協会 | 94 | 16.0 | 78.0 |

女子Aクラス エントリー66名/出場者62名

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|-----------|-------|------|------|
| 1 | 別府 砂織 | サニ | 77 | 8.0 | 69.0 |
| 2 | 三浦 美礼 | G M G 八王子 | 83 | 13.9 | 69.1 |
| 3 | 山口真美子 | JGA個人会員 | 84 | 11.3 | 72.7 |
| 4 | 津堅 典子 | オリムピック | 80 | 7.2 | 72.8 |
| 5 | 横尾麻紀子 | KGAカード会員 | 88 | 15.1 | 72.9 |
| 6 | 柴田 章江 | オリムピック | 82 | 9.0 | 73.0 |
| 7 | 小池 晶代 | 水 | 81 | 7.6 | 73.4 |
| 8 | 木村 ふさ | 初穂 | 81 | 7.2 | 73.8 |
| 9 | 樋田 雅美 | JGA個人会員 | 87 | 12.7 | 74.3 |
| 10 | 岡本 典子 | 赤城国際 | 85 | 10.3 | 74.7 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|----------|-------|------|------|
| 11 | 平田 由香 | 彩の森 | 90 | 15.2 | 74.8 |
| 12 | 小澤千恵子 | 白水 | 82 | 7.0 | 75.0 |
| 13 | 福井 春子 | 柏崎 | 88 | 12.8 | 75.2 |
| 14 | 楠澤 敏枝 | 石坂 | 87 | 11.3 | 75.7 |
| 15 | 福嶋恵津子 | 取手国際 | 88 | 12.0 | 76.0 |
| 16 | 木村 佑子 | 柏崎 | 87 | 10.9 | 76.1 |
| 17 | 志村 千恵 | 甲府国際 | 91 | 14.8 | 76.2 |
| 17 | 千野 理恵 | 白水 | 83 | 6.8 | 76.2 |
| 19 | 久保田早恵 | チャーミング関越 | 89 | 12.6 | 76.4 |
| 20 | 松本夕起子 | ユニオンエース | 90 | 13.4 | 76.6 |

女子Bクラス エントリー56名/出場者51名

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|--------|------|-------|------|------|
| 1 | 水科 裕子 | 柏崎 | 92 | 24.5 | 67.5 |
| 2 | 井ノ川恵美子 | 立科 | 93 | 23.5 | 69.5 |
| 3 | 古川 真美 | 津久井湖 | 89 | 18.7 | 70.3 |
| 4 | 須川 由美 | 千曲高原 | 95 | 24.1 | 70.9 |
| 5 | 清水 米子 | 取手国際 | 89 | 17.4 | 71.6 |
| 6 | 高田 敬子 | 武蔵野 | 93 | 21.1 | 71.9 |
| 7 | 渡辺加代子 | 笹神五頭 | 94 | 19.9 | 74.1 |
| 8 | 曹 如辰 | 武蔵野 | 96 | 20.9 | 75.1 |
| 9 | 高橋美美子 | 高根 | 94 | 18.8 | 75.2 |
| 10 | 遠藤紀知子 | 多摩 | 96 | 20.7 | 75.3 |

| 順位 | 選手名 | 所属 | GROSS | HC | NET |
|----|-------|-----------|-------|------|------|
| 11 | 岡本真奈美 | 千葉桜の里 | 96 | 20.1 | 75.9 |
| 12 | 大塚 和美 | G M G 八王子 | 101 | 25.0 | 76.0 |
| 13 | 山崎すみえ | ヨネックス | 92 | 15.7 | 76.3 |
| 13 | 本田伊左子 | 高根 | 93 | 16.7 | 76.3 |
| 15 | 岩崎よしみ | 初穂 | 94 | 17.6 | 76.4 |
| 16 | 木内 昭子 | 多摩 | 100 | 23.4 | 76.6 |
| 17 | 本田真理子 | 大根 | 97 | 20.2 | 76.8 |
| 18 | 稲葉 由紀 | 赤城国際 | 93 | 16.1 | 76.9 |
| 19 | 星 美由紀 | 丘の公園清里 | 99 | 21.4 | 77.6 |
| 19 | 渡辺実和子 | 甲府国際 | 97 | 19.4 | 77.6 |



平成20年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

平成20年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

日本ジュニア活躍選手を 多数輩出も、マナー面での不満が

写真/舟橋一芳、増田収 (KGA広報委員)

平成20年度の関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技は、相模原ゴルフクラブ・東コースにおいて、15～17歳の部（男・女）は7月31日と8月1日の2日間、12～14歳の部（男・女）は8月1日に、それぞれ開催された。

競技成績は、男子15～17歳の部では、初日に70ストロークで梅山知宏（作新学院高2年）、大塚智之（埼玉栄高3年）、今平周吾（埼玉栄高1年）の3選手がトップに並んだものの、5打差（75ストローク）以内に19選手がひしめく混戦模様となった。その中から、翌最終日に抜け出したのが梅山選手。第2ラウンド、多くの選手がスコアを崩すなか、74ストロークのラウンドで粘り、計144ストロークで2位の今平選手に2打差をつけて優勝した。

一方、女子15～17歳の部では、野村敏京選手（明治高1年）が初日66ストロークの見事なスコアを記録。2位の野田ゆりか選手（JGAジュニア会員）

以下に5打の大差をつけて飛び出した。しかし、最終日は初日72ストロークで3位だった青木瀬令奈選手（前橋商業高1年）が74ストロークの安定したプレーで計146ストロークだったのに対し、野村選手はよもやの81ストロークでのラウンド。青木選手が1打差で逆転勝ちを収めた。

男子12～14歳の部では、中学1年生（藤沢市立湘洋中1年）の伊藤誠道選手が70ストロークで、年長の浅地洋佑（杉並学院中3年）、滝雅志（水戸市立双葉台中3年）の両選手に1打差をつけて優勝。

また、女子12～14歳の部では、向後波香（横浜市立岡津中3年）、渡辺彩香（熱海市立小嵐中3年）、村田理沙（杉並学院中1年）の3選手が78ストロークで並び、プレーオフに。その結果、2ホール目で向後選手の優勝が決まった。

各部の上位選手は8月20～22日に開催されたJGA主催の日本ジュニアゴルフ選手権に出場。



▲女子12～14歳の部 優勝の向後波香選手(中央)、2位タイの渡辺彩香選手(右)と村田理沙選手(左)



▲男子12～14歳の部 優勝の伊藤誠道選手(中央)、2位タイの滝雅志選手(左)と浅地洋佑選手(右)

今年、男子12～14歳の部(伊藤誠道選手)、女子15～17歳の部(青木瀬令奈選手)、女子12～14歳の部(渡辺彩香選手)で、本大会から出場した選手が見事優勝している。関東ジュニアの競技レベルは確実に上がっているようだ。

そうしたなか、競技委員の間から憂慮すべき傾向が指摘された。

ひとつは、全体にスロープレーになりがちなこと。各選手は、「少しでも好成績を」と、競技(=スコア)に集中するあまり、プレーの進行への

配慮が弱まってしまうのだろう。

もう一点。スロープレーにもつながる問題だが、同伴競技者の打球の行方を注視しない選手が多いこと。このことは、今回、多くのジュニア育成委員から指摘された。今大会会場の相模原ゴルフクラブはコースコンディションが大変に良く、ラフも芝が密生していた。そのためフェアウェイをわずかに外しても、ボールを見失う可能性があった。ロストボールを出さないよう打球を注視するのは、同伴競技者としての大事

スズメバチ・ルール?



大会2日目。競技がスタートしてから3時間ほどたったころ、14番ホールの右ラフ、ちょうどティーショットの落下地点の横に立つ大木からスズメバチの巣が発見された。そのため委員会では、倶楽部を通じて専門業者に駆除を要請するとともに、その大木から半径10mほどの周囲をぐるりとローピング。そのうえで、そのローピング内を「修理地」ではなく、ローカルルールで規定される「臨時の障害物」とした。トーナメントで設置されるテレビカメラ用の塔と同様の扱いで、そのローピング内にボールが止まった場合だけではなく、プレーヤーが意図するプレーの線上にローピングのエリ

アがかかった場合も、フリードロップをさせるようにした。なぜなら、打球がその大木に当たった場合、スズメバチが飛び出してくる可能性があるからだ。「安全第一」で急ぎょ設けられることになったローカルルールの「スズメバチ・ルール」だった。



急速ローピングをしてスズメバチの巣に対応するジュニア育成委員



▲女子15～17歳の部 優勝の青木瀬令奈選手(中央)、2位の野村敏京選手(左)、3位の佐藤千紘選手(右)

なマナーである。また、同伴競技者の見失ったボールを、一緒に探すこと。この点でも、マナー違反の選手が数多く目についたのは、とても残念だった。

競技レベルの向上は、もちろん歓迎し、各選



▲男子15～17歳の部 優勝の梅山知宏選手(左から2人目)、2位の今平周吾選手(左端)、3位タイの塩見好輝選手(右から2人目)と保田和貴選手(右端)

手の努力には敬意を表する。だが、それ以上にマナー向上を期待したい。

なお、このことについては表彰式の席上、大鷲俊朗ジュニア育成委員長が選手全員に厳しく苦言を呈した。

「大会を通じて、ゴルフの楽しさと意義を伝えたい」

大鷲俊朗ジュニア育成委員長

KGAのジュニア競技会の「名物人間」といいだろう。ジュニア育成委員会の大鷲俊朗委員長は、ハウス内で、あるいはスタートティーインググラウンドで、いつも笑顔で選手たちに話しかけている。

その大鷲委員長は、最近の選手たちの「スコア偏重」、競技成績にばかり神経を向けがちな傾向をどのように見て、どう対処しようとしているのだろうか。

「子供たちがこうした大きな大会に出て、当然そこでいい結果を出そうとすると、どうしてもプレーが委縮してしまう。失敗しないように、失敗しないようにとばかり考えてしまう。そんな競技ゴルフばかりしていたら、そのうちゴルフが嫌いになるかもしれない。僕は、子供たちにいつまでもゴルフを続けてもらいたい。だから、この大会でも、まずはゴルフの楽しさを教えてあげたい。

それから、ゴルフの本当の良さというか、意義を伝えてあげたい。つまり、人に迷惑を掛けないこととか。ルールに精通し、それに自らを律しながら行動するという。これは、そのまま社会生活にも役立つことでしょう。子供たちがいずれ、ゴルフをやって良かったなと思える日がくるように。そう思っています。」

選手のスコアを追求する姿勢は否定できない。でも、それと一緒にゴルフの楽しさと本当の意義を知ってもらうことは可能なはずだ。



にこやかに話しかけ選手の緊張をほぐす大鷲委員長



平成20年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成20年7月31日(木)、8月1日(金)
●開催倶楽部 相模原ゴルフクラブ・東コース
7,204ヤード パー72

エントリー118名/出場者116名/欠場者2名
主な成績(日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

| 順位 | 選手名 | 学校名/学年 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|------------|--------|--------|-----|
| 1 | 梅山 知宏 | 作新学院高(2) | 70 | 74 | 144 |
| 2 | 今平 周吾 | 埼玉栄高(1) | 70 | 76 | 146 |
| 3 | 塩見 好輝 | 埼玉栄高(3) | 75 | 72 | 147 |
| 3 | 保田 和貴 | つくば開成高(2) | 72 | 75 | 147 |
| 5 | 佐藤 宇紘 | 埼玉平成高(2) | 77 | 71 | 148 |
| 5 | 水石 琢哉 | 水城高(1) | 73 | 75 | 148 |
| 7 | 斎藤 陸 | 埼玉栄高(1) | 76 | 73 | 149 |
| 7 | 松岡 啓 | 千葉日大一高(2) | 74 | 75 | 149 |
| 7 | 中里光之介 | 杉並学院高(1) | 75 | 74 | 149 |
| 7 | 大塚 智之 | 埼玉栄高(3) | 70 | 79 | 149 |
| 11 | 中村 貴至 | 鹿島学園高(3) | 75 | 75 | 150 |
| 11 | 内藤 慶 | 鹿島学園高(2) | 74 | 76 | 150 |
| 13 | 北川 祐生 | 千葉学芸高(3) | 79 | 72 | 151 |
| 13 | 矢代 直仁 | 千葉学芸高(2) | 74 | 77 | 151 |
| 13 | 小袋 秀人 | 鹿島学園高(2) | 71 | 80 | 151 |
| 16 | 小野田享也 | クラーク浜松高(2) | 76 | 76 | 152 |
| 16 | 渡辺 悠太 | 埼玉栄高(2) | 74 | 78 | 152 |
| 18 | 竹安 俊也 | 鹿島学園高(1) | 78 | 75 | 153 |
| 18 | 草柳 航 | 多古高(3) | 76 | 77 | 153 |
| 18 | 河村 拓磨 | 鹿島学園高(2) | 72 | 81 | 153 |
| 21 | 伊山 祐介 | 杉並学院高(2) | 76 | 78 | 154 |
| 21 | 木崎 亮太 | 水城高(2) | 78 | 76 | 154 |
| 23 | 三木 龍馬 | 埼玉平成高(3) | 78 | 77 | 155 |
| 23 | 高瀬 大和 | 水城高(3) | 76 | 79 | 155 |
| 23 | 長内雄太良 | 水城高(3) | 74 | 81 | 155 |
| 23 | 高田 聖斗 | 水城高(2) | 74 | 81 | 155 |
| 23 | 渡辺 春希 | 作新学院高(2) | 77 | 78 | 155 |
| 28 | 渡辺 賢 | 法政二高(3) | 79 | 77 | 156 |
| 28 | 角 怜央 | 日大一高(3) | 79 | 77 | 156 |
| 28 | 井口 将志 | 駿台甲府高(3) | 77 | 79 | 156 |
| 28 | 竹内 法実 | さくら国際高(2) | 73 | 83 | 156 |
| 32 | 日覚 暁紀 | 日大高(2) | 80 | 77 | 157 |
| 32 | 中島 拓也 | 埼玉栄高(2) | 81 | 76 | 157 |
| 32 | 伊沢 秀憲 | 日大高(2) | 75 | 82 | 157 |
| 35 | 佐藤 博史 | 千葉学芸高(3) | 78 | 80 | 158 |
| 35 | 笠松孝太郎 | クラーク浜松高(2) | 81 | 77 | 158 |
| 35 | 山口 拓也 | 日大三高(3) | 80 | 78 | 158 |
| 35 | 赤座 亮 | 作新学院高(1) | 77 | 81 | 158 |
| 35 | 星野 修平 | 新潟産業大高(1) | 78 | 80 | 158 |
| 35 | 小林 克也 | 埼玉栄高(2) | 78 | 80 | 158 |
| 41 | 橋本 貴文 | 駒場学園高(3) | 78 | 81 | 159 |
| 41 | 奈良 泰佑 | 佐野日大高(2) | 81 | 78 | 159 |
| 41 | 半田 大統 | 佐野日大高(3) | 79 | 80 | 159 |
| 41 | 荒井 健人 | 高輪高(3) | 78 | 81 | 159 |
| 45 | 山野井賢祐 | 佐野日大高(2) | 80 | 80 | 160 |
| 45 | 高柳 大 | 関東学園大高(3) | 81 | 79 | 160 |
| 45 | 石井 魁人 | 埼玉栄高(1) | 79 | 81 | 160 |
| 45 | 石渡 和輝 | 千葉学芸高(1) | 79 | 81 | 160 |
| 49 | 光吉 佑樹 | 鹿島学園高(3) | 78 | 83 | 161 |
| 49 | 尾崎 貴将 | 青山学院高(3) | 77 | 84 | 161 |
| 51 | 谷 豪 | 埼玉栄高(1) | 78 | 84 | 162 |
| 51 | 須藤 裕太 | 作新学院高(1) | 81 | 81 | 162 |
| 51 | 納富 一輝 | 埼玉栄高(2) | 77 | 85 | 162 |

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成20年7月31日(木)、8月1日(金)
●開催倶楽部 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,365ヤード パー72

エントリー21名/出場者21名/欠場者0名
主な成績(日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

| 順位 | 選手名 | 学校名/学年 | 第1ラウンド | 第2ラウンド | 合計 |
|----|-------|-----------|--------|--------|-----|
| 1 | 青木瀬令奈 | 前橋商業高(1) | 72 | 74 | 146 |
| 2 | 野村 敏京 | 明治高(1) | 66 | 81 | 147 |
| 3 | 佐藤 千紘 | 日大高(2) | 75 | 73 | 148 |
| 4 | 野田ゆりか | JGAジュニア | 71 | 79 | 150 |
| 5 | 後藤 恵 | 拓大紅陵高(1) | 79 | 73 | 152 |
| 6 | 仲宗根澄香 | 松戸六実高(2) | 77 | 76 | 153 |
| 6 | 山口 莉穂 | 埼玉栄高(2) | 75 | 78 | 153 |
| 8 | 眞尾 万里 | 正智深谷高(1) | 81 | 74 | 155 |
| 9 | 志賀 友香 | 埼玉栄高(3) | 79 | 78 | 157 |
| 10 | 石川 陽子 | 日大高(1) | 77 | 82 | 159 |
| 11 | 清野 未琴 | 新潟一高(2) | 80 | 80 | 160 |
| 11 | 青木菜里奈 | 前橋商業高(3) | 77 | 83 | 160 |
| 13 | 吉野 茜 | 千葉日大一高(2) | 83 | 78 | 161 |
| 13 | 富澤真理子 | 埼玉栄高(2) | 79 | 82 | 161 |
| 15 | 成田美寿々 | 拓大紅陵高(1) | 83 | 79 | 162 |
| 16 | 亀田 愛里 | 御殿場西高(1) | 81 | 83 | 164 |
| 16 | 中山 采美 | 藤枝順心高(1) | 81 | 83 | 164 |
| 18 | 佐藤由香利 | 新潟産業大高(3) | 83 | 82 | 165 |
| 19 | 川島 綾乃 | 桐生南高(3) | 79 | 87 | 166 |

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成20年8月1日(金)
●開催倶楽部 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,722ヤード パー72

エントリー47名/出場者47名/欠場者0名
主な成績(日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

| 順位 | 選手名 | 学校名/学年 | アウト | イン | 合計 |
|----|--------|----------|-----|----|----|
| 1 | 伊藤 誠道 | 湘洋中(1) | 37 | 33 | 70 |
| 2 | 滝 雅志 | 双葉台中(3) | 36 | 35 | 71 |
| 2 | 浅地 洋佑 | 杉並学院中(3) | 35 | 36 | 71 |
| 4 | 須賀 京介 | 杉並学院中(3) | 35 | 38 | 73 |
| 5 | 奥富 基喜 | 三尻中(3) | 37 | 37 | 74 |
| 6 | 澤田 康弘 | 暁星中(2) | 38 | 38 | 76 |
| 6 | 木村 瑞偉 | 加治中(3) | 37 | 39 | 76 |
| 6 | 阿久津未来也 | 河内中(2) | 36 | 40 | 76 |
| 9 | 都 和馬 | 鶴ヶ島中(2) | 39 | 38 | 77 |
| 9 | 落合 卓 | 三尻中(3) | 39 | 38 | 77 |

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成20年8月1日(金)
●開催倶楽部 相模原ゴルフクラブ・東コース
6,365ヤード パー72

エントリー27名/出場者27名/欠場者0名
主な成績(日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格選手)

| 順位 | 選手名 | 学校名/学年 | アウト | イン | 合計 |
|----|-------|-------------|-----|----|----|
| 1 | 向後 波香 | 岡津中(3) | 38 | 40 | 78 |
| 2 | 渡辺 彩香 | 小嵐中(3) | 39 | 39 | 78 |
| 2 | 村田 理沙 | 杉並学院中(1) | 39 | 39 | 78 |
| 4 | 松森 彩夏 | 砧中(2) | 38 | 41 | 79 |
| 4 | 井上 莉花 | 見川中(3) | 34 | 45 | 79 |
| 6 | 木戸 侑来 | 横須賀学院中(3) | 39 | 41 | 80 |
| 6 | 木村 紗奈 | 常陸大宮二中(3) | 39 | 41 | 80 |
| 8 | 飛田 愛理 | 双葉台中(1) | 42 | 39 | 81 |
| 8 | 川岸 史果 | 横浜英和女学院中(2) | 38 | 43 | 81 |



■平成20年度KGAジュニアゴルフ大会(小学生対象)

KGAが掲げる大会の目的

「競技ゴルフの練習の場とし、
楽しさと醍醐味を経験させる」

その意味を再確認する

写真/片山 晴美(KGA広報委員)
塚越 克一(KGA広報委員)



第21回若洲大会は、8月には肌寒さも感じさせる。終日雨の中での大会。スタート前には、途中で中止になることも予想されたが、無事、終わることができた。ラウンドを終えると学年に関係なく、同伴競技者とはすっかり親友に。ゴルフならではの風景だ。

KGAでは全国に先駆け、平成7年度から競技会形式による小学生大会(小学校4～6年、男子の部・女子の部)を開催。今年度も2会場で実施し、第20回大会が8月11日に茨城ゴルフ倶楽部・西コースで、続く第21回大会が同26日に若洲ゴルフリンクス(東京都)でそれぞれ行われた。

名称が「大会」である意味

ご存じのように、JGAでは昨年から同じく小学校4～6年を対象にした「全国小学生ゴルフ大会」の開催を始めた。そのため、「KGAジュニアゴルフ大会」でも成績上位者に全国大会への出場資格を与えることになった。

ここ数年のジュニアゴルフ熱の高まりに加え、JGAの日本タイトルとも言える全国大会の創設により、各地区連盟主催の小学生大会(一部連盟では「小学生ゴルフ選手権」を開催)への関心度は高まっている。KGAの今年の小学生大会も、両会場とも130名の募集はすぐに定員に達する人気となった。

また、参加選手の競技レベルも年々上がっている。嶋田憲人ジュニア育成委員会副委員長は、「道具の進化もあり、昔に比べて飛距離も伸びていますし、スピンコントロールのできる子も見られ、スコアは随分良くなりました。」と語る。

大会を取り巻く状況は、ここ数年で大きく変わりつつあるようだ。



楽しそうな出場選手。



そうしたなか、この大会には一貫した基本姿勢がある。それは大会の「目的」に掲げてある「競技ゴルフの練習の場とし、楽しさと醍醐味を経験させる」ということである。

この機会に大会の「目的」が意味するところが再確認しておきたい。

そこでまず触れなければならないのは、大会の名称が「選手権」ではなく、「大会」であることだ。

「選手権として実施するのであれば、第一に、出場選手がきちんとルールを理解していなければなりません。でも、ルールブックに書かれてある文章を小学生が正確に理解できると思いますか？」(大鷲俊朗ジュニア育成委員会委員長)

ゴルフはプレーヤーがルールに則って、自らを律してプレーする競技。つまり、競技ゴルフは各プレーヤーがルールを熟知し、ゴルファーとして確立されていることが前提である。

小学生にそこまで求めることは無理であろう。

だが、子供のころから「競技ゴルフ」の精神を学ばせることは大事なことである。だから、本大会では「競技ゴルフの練習の場」を開催主

旨に、競技ゴルフならではの「楽しさと醍醐味」を経験してもらうことで、最終的には「子供たちに立派なゴルファーになってもらうとともに、生涯、ゴルフに親しんでもらいたい。」(大鷲委員長)というのだ。

距離設定の重要さ

その「楽しさと醍醐味」を経験してもらううえで重要な課題がある。それは大会のコースセッティング、なかでもティーの設定である。

飛距離の短い小学生の場合、ティーの位置によりホールの難易度は大きく変わる。本大会は、競技を「楽しんでもらう」という主旨から、距離を長めにして難易度を上げるといったセッティングは採用されていない。実際、上位選手は口を揃えて「距離はもっと長くても大丈夫」と言う。

しかし、例えば若洲ゴルフリンクスには7番(本大会では242ヤード、パー4)という名物ホールがある。フェアウェイが左右、2段にセパレートされているのだが、第2打を考えると右サイドが有利となる。高さがグリーンと同レベルで、

グリーン手前の「花道」を使うこともできる。一方、左サイドのフェアウェイはグリーンへ打ち上げとなる上に、グリーン手前には大きなガードバンカーが広がっている。ただし、ティーは左フェアウェイが正面にストレートに見える位置にあり、右フェアウェイへは斜め方向に打つことになる。しかも、右フェアウェイ手前には、左右をセパレートする急斜面のラフがある。

そのため、右フェアウェイのベストポジションに落とすには、的確なコースマネジメント(狙う方向)と正確なショットが求められ、失敗した場合にはそれなりのリスクを伴う面白いホールなのである。

大鷲委員長は特設ティーのセッティングにあたり、こうしたホールの面白さ、醍醐味を損なわないように、特に留意しているという。本大会に限らず、小学生大会では常に考慮されるべきポイントであろう。



7番ホール(242ヤード、パー4)、特設ティーインググラウンド



成績表

平成20年度 第20回KGAジュニアゴルフ大会 開催日:平成20年8月11日 開催コース:茨城ゴルフ倶楽部西コース 5359ヤード パー72



第20回大会。男子の部、優勝の徳嶽太選手(中央)、2位タイの河田丈一郎選手(右)と大久保克海選手(左)。

男子の部 エントリー79名/出場者76名

- 優勝 徳嶽 太(神奈川県平塚市立花水小6年) 64ストローク
- 2位 河田 丈一郎(新潟県新潟大附属新潟小6年) 69ストローク
- 2位 大久保 克海(長野県松本市立島内小6年) 69ストローク



第20回大会。女子の部、優勝の高橋恵選手(左から2人目)、2位の伊藤菜奈選手(左端)、3位タイ羽藤琴和選手(右から2人目)と鈴木萌子選手(右端)。

女子の部 エントリー51名/出場者48名

- 優勝 高橋 恵(神奈川県私立捜真小学校6年) 67ストローク
- 2位 伊藤 菜奈(千葉県千葉市立源小6年) 71ストローク
- 3位 羽藤 琴和(千葉県富里市立日吉台小5年) 73ストローク
- 3位 鈴木 萌子(千葉県市原市立清水台小6年) 73ストローク

平成20年度 第21回KGAジュニアゴルフ大会 開催日:平成20年8月26日 開催コース:若洲ゴルフリンクス 5128ヤード パー72



第21回大会。男子の部、優勝の小川詠次郎選手(中央)、2位の猪川頌生選手(右)と3位の本間佑選手(左)。

男子の部 エントリー87名/出場者85名

- 優勝 小川詠次郎(東京都足立区立五反野小学校5年) 73ストローク
- 2位 猪川頌生(静岡県熱海市立多賀小学校6年) 74ストローク
- 3位 本間 佑(埼玉県坂戸市立坂戸小学校5年) 75ストローク



第21回大会。女子の部、優勝の宮崎千瑛選手(中央)、2位の永井花奈選手(左)、3位の五十嵐春佳選手(右)。

女子の部 エントリー45名/出場者44名

- 優勝 宮崎千瑛(東京都中央区立常盤小学校6年) 76ストローク
- 2位 永井花奈(東京都品川区立立会小学校5年) 77ストローク
- 3位 五十嵐春佳(新潟県五泉市立立川東小学校6年) 80ストローク

固定資産税軽減 現況地目山林へ



西武不動産(株) 若尾憲一氏

今年8月、総務省告示により「固定資産評価基準」の一部が改正され、平成21年度分の固定資産税からゴルフ場用地の評価においては、「ゴルフ場の用に供する一団の土地」から、プレーを進めるうえで必要がないと認められる土地が除かれ、その除かれた土地は現況地目で評価されると改められた。これにより、従来、多くのゴルフ場でゴルフコース用地としてひと括りに課税評価された土地が現況に応じ、プレーに全く関係しない森林は山林地目で評価し直される道筋ができた。しかし、地目の見直しには、各市町村の税務担当による現況認定を受けなければならない。そこで、現況地目山林への見直しによる固定資産税軽減で実績のある西武不動産(株)の若尾憲一氏に、政府税制調査会委員でもあるKGA税対策委員会の井上裕之委員長が同税軽減に至る実務の実際を聞いた。

井上——各市町村にとって固定資産税は最も重要な財源のひとつです。一方、ゴルフ場が安定した経営を続けるには固定費の削減は大きな課題であり、固定資産税を軽減できる道筋ができたことは大きなチャンスです。とはいえ、関係市町村との折衝は簡単ではないのでしょうか。

若尾——そうですね。8月の総務省の通達では、全国のゴルフ場の半数で現況地目山林への見直しにより固定資産税の減税が認められており、残り半数で認められていないそうです。そこで、残りの半分でも見直しをしないという指示なのですが、具体的な手法までは示されていないので、現場は相当に戸惑っているようです。

井上——そうですね。そこで、具体的に若尾

さんのところの手法をお聞きしたいのですが。

若尾——私のところでは、平成15年から現況地目山林への変更による固定資産税軽減のお手伝いをさせてもらっています。私どもの手法は航空写真を撮って、それで正確な現況を示すというものなのですが、最初に手掛けた千葉県市原市では、やはりかなりの抵抗がありました。ただし、「航空写真の利用」と「一筆(一団の土地)であっても分割して評価できる」という法的根拠を示し、また航空写真の精度を理解してもらったところ、1か月ほどで承認していただきました。市原では敷地の外縁はもちろん、コース内の森林も「山林」に変更していただきました。

井上——現地調査なし？

若尾——ええ、市原市役所は特別でそこまではしませんでした。ただ、市原市以降、関東を中心にこれまで43コースほどのお手伝いをしてきましたが、多くは外縁だけで、コース内は大きな森林でなければ「山林」と認めてもらえてません。

井上——向こうも税源を守るのに必死だからね(笑)。しかし、以前は一筆の土地は測量し直して分筆しなければ、コース内の地目変更は認められないと聞いておりましたが。

若尾——実は分筆は原則で、一筆の土地を分割評価できないとは示されていないんです。また、分割評価に際しては、基本的に国土調査法に準ずる精度で座標の示された図面を作り、面積が算出されていれば、測量図面がなくても、行政側は認めざるを得ないんです。

井上——測量しての分筆は数千万円のコストがかかりますからね。

のチャンス拡大! の見直しを提案



KGA 税対策委員会委員長 井上裕之氏

若尾——航空写真による申請ですと、18ホールで500万円程度で済みます。また、その後の管理図面として、コースの正確な平面図をデジタルで作製するのですが、そこには例えばスプリンクラーの設置場所や電気系統の配線図など、コース上の各種データを落とし込むことも可能です。

井上——それは便利ですね。それで、どれくらいの減税が期待できます？

若尾——受注したコース平均で年300~500万円の減税になります。

井上——個別に申請資料を作らず、支配人会などが集団で陳情する例もありますが。

若尾——その場合は役所主導で、多くは外周の一部の山林だけが認められ、50万円程度の減税に留まっているようです。団体での陳情に対しては、行政側が身構え、一度に巨額の減税になるのを恐れて「OB杭から30m先まではゴルフ場地目」といった仕様書を作られる場合があるんです。

井上——30mとなると、「山林」に変更できる森林はほとんどなくなりますね。

若尾——ええ。行政側にそうした仕様書を作られますと、後から現況地目への変更は大変難しくなります。一概には言えないのですが、団体で交渉した場合、あるいは役所側からの提案では、最低限の変更に抑えられがちです。

井上——もうひとつ、減税の手法で宅地比準から山林比準への変更で大幅な減税に結びつけたという例もありますが、この方式は？

若尾——その方式が使えるのは、周辺の都市化が進んだ東京や埼玉の一部だけで、全国的に見て減税効果があるのは5%程度ではないでしょうか。も

ちろん、そうした地域のゴルフ場は集団で役所に申請すべきでしょうね。

井上——若尾さんのところでは、ゴルフ場が発注後、地目変更が認められるまで、期間はどれくらいと？

若尾——市町村との協議に1~2か月程度掛かり、現況地目見直し図書の提出まで約2~3か月かかります。固定資産税の評価変更は翌年1月1日からですので、11月中には役所に提出したいですね。つまり、8月~9月に発注いただければ、翌年から減税が期待できます。

井上——地目の変更は毎年できるんですね。

若尾——はい。評価基準の見直しは3年ごとですが、地目変更は毎年できます。

井上——実際には、ここでは紹介できない交渉術がいろいろあるんでしょうね。

若尾——ええ、それは、これまでの経験で学んだノウハウがいろいろと……(笑)。

井上——今日は概要しか紹介できませんでしたけど、現況地目への変更による固定資産税の軽減はすぐにでも取り組むべき課題だと理解いたしました。どうもありがとうございました。



Today Golfer's 「晴れ倶楽部」との コラボレーションで 深まる普及! 広がる可能性!



「KGA Golfer's カード」はこのたびゴルフトゥデイが主催する「晴れ倶楽部」と提携することになった。その目的と可能性を関係者に聞いた。



関東ゴルフ連盟
総務委員会
カード部会長
篠崎勝宏氏



(株)ゴルフトゥデイ社
代表取締役社長
北山尚孝氏



(株)ボーイズ
代表取締役社長
曾良俊明氏

(株)オーエムシーカードと提携し6年前から発行を始めた「KGA Golfer's カード」(以下、KGAカード)は、ゴルファー保険の自動付帯やJGAハンディキャップ取得(有料)、ゴルフ用品の割引、ロードサービス(ゴールドのみ)など、ゴルファーにとって利便性の高い各種サービスが魅力のカードである。また、加盟倶楽部にとってもカード使用手数料がかなり抑えられているという大きなメリットがあるし、KGAにとってもカードホルダーに対して定期的に告知が可能になるため競技の普及・振興が大いに期待された。このようにスタート時点から「三方一両得」のカードと評され、会員数も順調に伸びるものと思われていた。ところが、既にほとんどのゴルファーが何らかの関係でクレジットカードを複数枚保有しているという現実と、KGAが言わば公益組織でありPR活動に限界があることなどから、入会者は3000人前後で頭打ちの状況になってしまっていた。

だが、KGAとしてはこの「KGAカード」の普及こそが、ハンディキャップの普及やゴルファーの活性化といった面で大きな貢献が期待できる活動であるという考えから、更なる飛躍を求め、今回ゴルファーとのアクティブな活動を実現しているゴルファー組織との提携を実現させたのだ。それがToday Golfer's「晴れ倶楽部」だ。この倶楽部は隔週刊のゴルフ誌『ゴルフトゥデイ』(発行元:三栄書房)の基に誕生した年会費制のゴルファー組織で、現在約1000人の会員がいる。その内容は月例会をはじめ様々なユニークなゴルフイベントの開催、ホームコースの設定などまさにゴルフプレーそのものを提供するサービスが中心となっている。

その「晴れ倶楽部」との提携で、「KGAカード」をより魅力的なものに発展させ、この場を通じて様々なレベルのゴルファーとのコミュニケー

ションを実現し、プレー意欲を高めることによって、加盟倶楽部にさらに多くのゴルファーが集まってもらえるような活動に繋げて行きたいと考えている。

今後、同カードを通じてどのような“可能性”を描いているのか、双方の関係者に話をお聞きした。

まずは、提携の発案者の一人で、「晴れ倶楽部」のプロデューサー役を務める曾良俊明氏((株)ボーイズ社長)は、

「KGAカードも晴れ倶楽部も、有料でゴルファーを組織化(会員制)していましたが、中身はまったく別のものでした。KGAカードは、カードビジネスを模索していましたが、晴れ倶楽部は、イベントビジネスが活動の中心でした。年会費の額も含めて表面的には非常に良く似た組織ですが、両者は全く異なったビジネスモデルを持っていたわけです。これはコラボレートできる最高のケースです。力を合体できて、お互いのビジネスをほとんど邪魔することがありません。

おまけにゴルファーにもゴルフ場にもメリットをもたらすことが可能となります。」と提携を提案した理由を説明する。

これに対し、KGAの篠崎勝宏カード部会長は、前述のカード会員数の伸び悩みを踏まえた上で、「KGAはアマチュアの競技団体ですから、主催競技はやはりアスリートゴルファーを中心としたものになります。しかし、KGAには“ゴルフの普及”という使命もあり、そのためには、ゴルフの持つ別の楽しさを前面に出したイベントを支援、協賛していてもいいのでは、と考えておりました。実際、“晴れ倶楽部”のように様々なレベルのゴルファーと積極的に接している倶楽部と協力関係を持つことは、ゴルフの活性化にも繋がるし、KGAカードの普及にも大いに貢献してくれるはずです。」と提案に応じた理由を語る。

一方の「晴れ倶楽部」側の北山尚孝氏((株)ゴルフトゥデイ社長)は、「晴れ倶楽部は、『ゴルフトゥデイ』の読者を対象に、ゴルフ誌が読者と2ウェイで接していくために10年前に設立した会員制組織ですが、今では毎回定員に達するアイアンマン・カップ(真夏にアイアンだけで15ラウンドを“かつぎ”や一人用手引きカートを使用、セルフでプレー)やパートナーズカップ(夫婦単位で参加する前夜祭付きイベント)など好評企画が複数誕生しております。ただ、今後さらに広がりのある展開を目指すために、KGAとのコラボレーションを機会に発行元の三栄書房も絡めたより強力な仕組みで企画を提供していきたいですね。」と意気込みを語る。

また、今後の具体的な展開については「企画に付加価値をもたらす協力企業の存在。より魅力的な会員サービスの創出。強力なPR。この3本柱を



スピーディーに積極的に推進することで、カードの存在感を一気に高めていきたい。」(曾良氏)として、「あくまでも私案ですが、例えばKGAとゴルフトゥ

デイが共催し、協力企業が協賛する、あらゆるレベルのゴルファーが楽しめる、さらにそこにプロも絡めたオープン競技を早急に企画したい。」と具体案を語る。

また、「KGA加盟倶楽部に直接メリットがもたらされる企画も欲しいところですね?」という篠崎カード部会長の問いかけにも、これも私案と断った上で、「ひとつの倶楽部でゲストが100名以上参加するイベントを企画・開催することは難しいでしょうが、我々にはそのノウハウがあります。そこで、倶楽部ごとにその倶楽部の個性や土地の特性をはかり、倶楽部と地域の両者の活性化につながる内容のイベントを企画。その後の倶楽部イベントの参考にしてもらおうというのは、どうでしょうか?」(曾良氏)

KGA Golfer'sカードの今回の提携からはさまざまな可能性が見えてきそうだ。

「より円滑な 国体競技運営を目指して」

— 平成20年度第3回「体協委員会」を終えて —

体協委員会は当初から大きく二つの課題に取り組んできた。ひとつは、KGAに加盟する1都10県と「国体」の関東ブロックのエリア（新潟、長野、静岡の各県が含まれない）が異なること。もうひとつは、その関東ブロック大会の運営にKGAが何ら関与できない現状の改善。このうち前者は国の地方行政全体の仕組みに関わる問題で、ゴルフ界だけ区割りを変えるわけにはいかず、現状を受け入れるしかないという結論に達している。

しかし、後者については、関東ブロック大会が関東地区で実施されるアマチュアゴルフの競技であるにもかかわらず、KGAが関与できないのはKGAの立場をないがしろにするものとして、関係各所に改善を求めてきた。だが、国体の競技運営に関する権限は基本的に各都県にあるため、交渉は各都県別に行うしかなかった。

そうしたなか、今年、山梨県の昇仙峡カントリークラブで開催された第63回国体関東ブロック大会においては、大会実行委員長である竹村孝氏（今回の体協委員会には、山梨県の遠藤辰男委員の代理として出席）からKGAに対し、運営協力の要請があり、それを受けKGAの体協委員会の正副委員長が総務委員に名を連ねた。

そうしたところ、図らずも従来の国体競技運営が内包する問題を顕在化させ、KGA体協委員会として今後取り組むべき課題が見えることになった。まずは今回の体協委員会で報告された、同ブロック大会で委員会が対処した問題の事案を簡単に紹介しよう。

同大会（少年男子の部（8都県各3名の出場。8組にてスタート））のうち、6組目でプレーする選手が2ホール目あたりから体調の変調（熱中症と思われる）を見せた。そのため同伴の競技委員は大事に至ることのないよう注意を払った。だが、7番ホールのティショットを終えたところで、同競技委員が本部に待機する看護師の派遣を要請。現場に到着したところで、同じく現場に着いた競技委員長の指示により競技を中断（同伴競技者の2名はホールアウトさせた）、現場で同選手を応急手当した。

その後、後続の2組にパスさせたが、同選手がプレー可能になるにはまだ時間がかかると判断。同

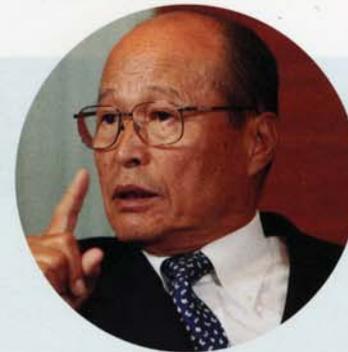
伴競技者2名については、最終8組目のあとに2名でプレーを再開させた（マーカーも指定し直す）。さらに一般の2組をパスさせたところで同選手の体調が回復したため、看護師の了解を得た上で、プレーを再開させた（マーカーを含め競技委員2名が同伴）。そして、9ホール終了後の昼食休憩後は、スタート時の組に戻し、同組でラウンドを終えさせた。

この事案について、競技委員会は主管である（財）日本ゴルフ協会に2度判断を仰ぐための連絡を行った。

(1) 委員会がその組（選手）に競技中断を指示したことの是非（JGAの回答は「問題なし」）。



KGA体協委員会委員長
岩宮 浩氏



山梨県ゴルフ連盟理事長
竹村 孝氏



KGA体協委員会副委員長
蛭田 信宏氏

(2) その選手は結局40分の競技中断となったが、それに対するペナルティは？（JGAの回答は「委員会の指示なのでペナルティの対象とはならない。ただし、40分の中断には少々問題ありか」）

それぞれJGAの判断を得たが、2番目の事案については「このような状況における時間的制限の実例は見当たらない。」として、ペナルティとなる中断時間の基準は示されなかった。

以上。

この件について、今回の体協委員会の席上、大会実行委員会の竹村委員長は大会競技委員会を代表して「当該選手は休憩の間、団体競技であるため競技続行を主張し続けた。もし委員会がそれを認め十分な休憩を取らずにプレーを再開させた結果、不測の事態が起きた場合——特に今回は競技者が少年であるため、自己責任では済ませられず——いったい誰が責任をとるのか？」（反対に言えば、委員会は競技者の安全を何より優先し、前例にこだわらず現場に則した競技の進行を心掛けて良いのではないか）との問題を提示した。

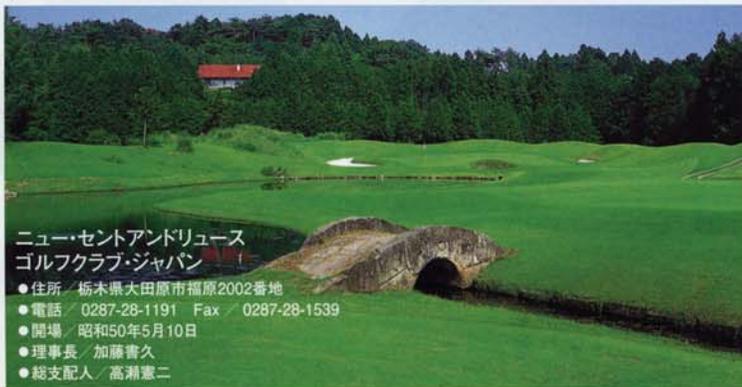
実は当体協委員会では、同大会の競技運営に、不完全ではあるが関与できるようになったため、大会に先立って次のようなことを決めた。「国体競技を主管するJGA・（財）日本体育協会の競技規定によれば、例えばジュニアの競技では選手たちは各自バッグを担ぎ、歩いてラウンドしなければなりません。ところが、関東ブロック大会は、時期的に気温が上がることもあれば、ヒリリーなコースで開催されることもあります。そこでKGA体協

委員会では、競技運営に際して、安全で円滑な運営を実現するために、適宜、ローカルルールを設けること。そして、その都度、どういった対応を執ったのかを正確に記録し、次回の参考にしてもらうことを積み重ねることで、最終的にはどのようなコースや気象条件、選手の状態で円滑な競技運営ができる指針（マニュアル）づくりに当たることを決めたのです。」（岩宮委員長）

その最初の実施が今回の第63回国体関東ブロック大会であり、そこで実際に、「東京都で開催された大会で都の競技委員会では、選手の体調を考慮（熱中症の予防）して、途中からバッグをカートに積んでラウンドさせるローカルルールを採用しました。」（蛭田副委員長）というように対応を行った。

そのうえで岩宮委員長は、こうした運営の改革の先に、「JGAが国体競技の実情に即した運営の指針を示すということはありませんから、その任に当たるのは当体協委員会であり、我々が指針を作り上げることにより、同様の取り組みが他地区連盟にも広がっていくことを期待したい。」と力強く語る。

国体のゴルフ競技は、ゴルフの普及・選手強化に大いに役立つ。だがそれは、国体競技という“器”を設けただけでは、真の成果は望めない。やはりフェアで円滑な運営がなされなければ、継続的な中身の充実は図れない。今回の体協委員会では、同委員会がその任に当たることを改めて確認した。



ニュー・セントアンドリュース
ゴルフクラブ・ジャパン

- 住所 栃木県大田原市福原2002番地
- 電話 / 0287-28-1191 Fax / 0287-28-1539
- 開場 / 昭和50年5月10日
- 理事長 / 加藤青久
- 総支配人 / 高瀬憲二

厳しくも美しいアメリカンスタイルの NEWコース18ホールズ スコットランドのリンクスを彷彿させる OLDコース9ホールズ

ニュー・セントアンドリュース ゴルフクラブ・ジャパン〈正会員〉

ニューコース (OUT・IN) の18ホールズは、J・ニクラスがデズモンド・ミューヘッドをパートナーに、日本で最初に設計した、厳しくも美しいアメリカンスタイルのコースです。

ニクラス自身が、少しハードに設計しすぎたと省みたほどのタフなホールが連続します。

ゴルフの故郷スコットランドのセントアンドリュースは、神が作ったコースと言われ、人の手では造形し難いアンジュレーションで構成されています。

これに範をとり、スコットランドの数多くの技術者・デザイナーの協力を得て設計されたオールドコースの9ホールズは、自然の地形を巧みに取り入れたリンクスを彷彿させるコースです。



久邇カントリークラブ

- 住所 埼玉県飯能市平松470
- 電話 / 042-973-1192 Fax / 042-974-4545
- 開場 / 昭和39年7月29日
- 理事長 / 南直哉 (みなみのぶや)
- 支配人 / 三澤悟

日本ならではの庭園美 武蔵野の自然に親しむ 27ホールズ

久邇カントリークラブ 〈正会員〉

静寂たどよう武蔵野の自然の中、あたかもひとつの庭園のように美しくレイアウトされた27ホールです。赤松でセパレートされたコースの景観

には、日本ならではの、また時間を積み重ねたゴルフ場ならではの美があります。その落ち着きのある和の風景はプレーにおいては戦略性をもたらし、さらに武蔵野丘陵という立地がコース全体に適度で自然なアップダウンを与え、各ホールはそれぞれに豊かな表情を有しております。プレーヤーのこだわりをしっかりと受けとめる戦略性と、四季が織り成す美しい景観は、ゴルフの醍醐味を十分に味わうことができるでしょう。

また、新しく「電磁誘導式5人乗り乗用ゴルフカー」を導入し、「快適なゆとりのラウンド」を実現しました。乗用ゴルフカーに乗って豊かな自然に親しみながらプレーが楽しみいただけます。

アクセスは関越自動車道・鶴ヶ島JCT経由、圏央道・狭山日高I.C.より3.3kmと都心から平常時約1時間、西武池袋線・飯能駅からクラブバスで15分と利便性にも優れています。



アゼリアヒルズカントリークラブ

- 住所 栃木県栃木市梅沢町1番地
- 電話 / 0282-30-1300 Fax / 0282-31-3038
- 開場 / 平成16年7月1日
- 理事長 / 松嶋勉
- 支配人 / 箱田恒雄

21年春には環境に考慮したオール電化の新クラブハウスが、21年夏には現クラブハウス跡地にアプローチ・バンカー練習場を新設。多様なクラブライフをお楽しみいただけるゴルフ場です。

眼下に広がる開放感ある景観 「シニア」「レディーズ」「ビギナー」も 楽しめるコース設計

アゼリアヒルズカントリークラブ〈準会員〉

「北関東の小京都」といわれる「蔵の街」栃木市近郊において、なだらかな稜線を描く丘陵。その南東斜面にゆるやかに展開するアゼリアヒルズカントリークラブ。東北自動車道 栃木ICより僅か6km8分の至近距離に位置し、電車でもJR、東武線 栃木駅から車で約20分と好立地にあります。

コースは、「シニア」「レディーズ」「ビギナー」向きのコース設計となります。

コースは高台にありダイナミックなショットの手ごたえとゴルフの醍醐味を心ゆくまで楽しみ、ティーグラウンドに立ったら、他の隣接するゴルフ場をはるかに見下ろす優越感があり、すばらしい景観は、他を圧倒する開放感があります。

当クラブは今年の3月27日にリニューアルオープンをしました。練習グリーンの拡幅、ドライビングレンジ新設、またコース売店の有人化をして、以前より一層楽しめるゴルフ場になりました。

成田空港より至近 アットホームな雰囲気満々な アメリカンスタイル

イーグルレイクゴルフ倶楽部 〈準会員〉

成田空港より約15分の距離に立地致し、アメリカンテイストの漂う会員制ゴルフクラブとして、現在正会員も約100名を数えております。殆どの会員が当

倶楽部での会員権取得が初めての方々で平均年齢も45歳となっております。

クラブハウスは白亜の2階建てで使いやすさとカジュアル感をコンセプトにし、オートセットアップの最新設備の練習場をレストランテラスに併設致しました。また、レッスンプロを3名常駐させて、ショートレッスンからラウンドレッスンまでさまざまなバリエーションを持ち合わせたプログラムも充実させて頂いております。特にグリーン2面を持つ4000㎡のアプローチ専用エリアは、初心者から上級者まであらゆるゴルファー層より高い評価を頂いております。

全国127コースを運営・保有するパシフィックゴルフマネージメント(株)初の新規プロジェクトコースである当クラブへ、是非、お越し下さいませお願い申し上げます。



イーグルレイクゴルフ倶楽部

- 住所 千葉県山武郡芝山町境字五丈201
- 電話 / 0479-78-6200
- 支配人 / 三井 茂

平成19年度
第2回常務理事会議事録

日時 平成19年7月3日(火) 正午
場所 グランドアーク半蔵門
出席者 吉田理事長、
相澤、伊藤、稲川、岩宮、大原、
齋藤、篠崎、高橋、塚原、野口、
広中、宮坂、渡邊各常務理事
定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣
した。
事務局より理事17名中、委任状を含め
た17名の出席となり、適法に成立した
旨の報告の後、議事録署名者として、
高橋、塚原常務理事を指名し順次議題
審議を行った。

—討議及び決議事項—

①「J-sys」システム機能変更説明
会に関する件

事務局より、配布された1都10県の
説明会の予定、内容の説明がなされ
た。
また、すでに説明会を終えている、
新潟、山梨、千葉の各県の状況につ
いて報告がなされた。

②関東アマ決勝競技に於けるマスコミ
及びギャラリー対策費に関する件

事務局より、現時点での支出につ
いて報告がなされ、承認された。
また、高橋常務理事より広報委員会
にて作成した「関東アマ記念アルバ
ム」の紹介がなされた。

③事務所移転費に関する件

事務局より移転費用に関する収支報
告がなされ、承認された。

④平成19年度アンダーハンディキャ
ップゴルフ選手権に関する件

事務局より本年度の日程、開催倶
楽部、競技規定について報告がなされ、
各常務理事に出席者募集方の依頼が
なされた。

⑤平成20年度関東倶楽部対抗プロ
ク予選競技会場に関する件

事務局より来年度の倶楽部対抗競技
各都県予選競技会場の決定依頼がな
され、その締切り日を8月27日にす
ることが承認された。

なお、同競技について以下の意見が
出され、関係委員会で検討すること
とした。

- (1)栃木県が2ブロックの開催と3ブ
ロックの開催で、決勝進出倶楽部数
が変わらないのであれば、3ブ
ロック開催をしたい。
- (2)競技の性格を考え、決勝競技の適
正倶楽部数の検討を関係委員会で
行なう必要がある。

⑥各分科委員会からの報告の件

(1)総務委員会
高橋常務理事(総務委員長)より
以下の報告がなされた。

①平成20年度関東グランドシニア
決勝競技会場について
事務局より、来年度、開催候補
倶楽部の程ヶ谷カントリー倶
楽部よりの書簡につき報告がなさ
れ、同競技開催倶楽部の特定倶
楽部での持ち回り開催について、
関係委員会にて検討をすること
が承認された。

②平成19年度倶楽部対抗・関東グ
ランドシニア決勝競技表彰式
の問題について
稲川常務理事より、倶楽部対抗
決勝競技での「甲斐駒カントリー
クラブ」の欠場について、山
梨県として謝罪がなされ、県内
代表者会議にて処分を検討する
ことが報告された。

これを受け、KGAとしても委
員の出席も含め、表彰式を厳粛
に行なうべく、検討を行なうこ
ととした。

③平成19年度第2回総務委員会開催
橋常務理事より、次回委員会に

て「ゴルフ振興金」「連盟規約
改正」「助成金」について検討
する旨の報告がなされた。

(2)体協委員会
岩宮常務理事(体協委員長)より、
JGA関係委員会にて討議された事
項

- ①KGA管轄「1都10県」と体協関
東区分「1都7県」の違い
- ②KGAの国体関与がない現状に
ついて報告がなされた。
- (3)競技委員会
野口常務理事(競技委員長)より、
本年度、関東アマ決勝会場である
「千葉カントリークラブ」に対し
て謝辞が述べられた。

⑦財日本ゴルフ協会個人会員入会の件

7月3日現在、申請のあった51名を承
認した。
全議事終了後、吉田理事長閉会を宣
した。

平成19年度
第3回常務理事会議事録

日時 平成19年11月13日(火) 正午
場所 銀座東武ホテル 芙蓉の間
出席者 吉田理事長

尾関、竹田両副理事長
相澤、伊藤、稲川、岩宮、大原、
齋藤、篠崎、高橋、塚原、野口、
広中、森川、渡邊各常務理事
定刻、吉田理事長が議長を務め開会を
宣言した。

事務局より理事17名中、委任状を含め
た17名の出席となり、適法に成立した
旨の報告の後、議事録署名者として、
野口、広中両常務理事を指名し順次議
題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会勧告通知に関する件

(1)加盟審査について
●「オリムピックカントリークラ

ブレイクつばらだコース」(埼
玉県)

高橋常務理事、エーデルワイス
ゴルフクラブよりの推薦を受け、
高橋常務理事より、現在は会員
数が少なく、分科委員会が組織
されていない為、必要な分科委
員会を設置した後に正会員とし
て推薦したいとの報告があり、
準会員への加盟が承認された。

●「霞ヶ浦カントリー倶楽部」(茨
城県)

塚原常務理事、玉造ゴルフクラ
ブよりの推薦を受け、塚原常
務理事に代わり事務局より、倶
楽部理事会が組織されていない事
により、まずは準会員への加盟
として推薦したいとの報告があ
り、準会員への加盟が承認され
た。

(2)退会について

●「思い川ゴルフ倶楽部」
事務局より、退会の説明があり
承認された。

(3)退会勧告倶楽部について

平成18年、19年度の年会費未納倶
楽部の4倶楽部について事務局よ
り報告があり、来る平成20年1月
18日に開催される第4回理事会に
おいて退会の勧告を決議する事が
承認された。
また、セント・フィールズゴルフ
クラブ(茨城県)は支払う意思が
ある事、レイクウッドゴルフクラ
ブ富岡コース(群馬県)は、11月
21日に話し合いの場を持つ事が報
告された。

②平成19年度一般会計・特別会計決
算案並びに平成20年度一般会計・
特別会計予算案に関する件

(1)平成19年度一般会計・特別会計決
算案について
事務局より、10月末時点での確定
事項ならびに予定額を考慮した決

算案について説明がなされ承認さ
れた。

審議の中で、尾関副理事長より、
特別会計のHDPC査定費用に関し
て、「J-sys」の本年度8月1日から
のサービス変更に伴う査定費用に
ついて、ソラン社への「J-sys」運
用サービス費用(¥1,150,000-8
月~10月、¥739,500-11月、12月)
がHDPC査定費用として計上され
る事が事務局より報告された。

(2)平成20年度一般会計・特別会計予
算案について

事務局より、来年度の活動計画に
基づき策定された予算案について
説明がなされ承認された。

審議の中で、尾関副理事長より、
特別会計のHDPC普及費
¥10,000,000-、ならびにHDPC
査定雑費¥1,500,000-については、
予算から削除する事を確認した。
また、岩宮常務理事より検討課題
として、一般会計の通信費が増え
ている為、メールでの連絡を増や
したらどうかと意見があり、事務
局にて検討する事となった。

③総務委員会及び政策小委員会からの
提言に関する件

(1)ゴルフ振興協力金廃止に関する件

①群馬県では振興金としての名目
より年会費値下げの意味合いが
強い。大所高所の話は倶楽部で
は理解されず、結果として退会
倶楽部が出るのではないかと。競
技会の会場になる倶楽部が限定
されており不満がある。廃止は
段階的にできないか。

②振興金の中止により値上げと感
じるだろう。別の方向で対応す
れば各倶楽部とも納得するの
ではないか。

③中止となれば、説明が必要にな
るだろう。

④余剰金があるのに何故か。

⑤期間が長くなると既成事実とな
り変更が難しくなる。ゴルフ振
興策を考えて将来を見据えるべ
き。

上記事項等があり結論に達しない
ため、改めて来る11月30日、12月
10日に開催される総務委員会で再
度検討される事が確認された。

但し、再検討に当たり稲川常務理
事より、総務委員会で時間をかけ
て審議して廃止の決定をしたので
あるから、その決定を認めたく
えずに倶楽部が納得するゴルフ振興策
の内容を検討したい、との提案が
なされ、内容検討は行方が方針と
してゴルフ振興協力金廃止は承認
された。

(2)KGA規約の改正案に関する件

提示された改正案を審議した結果、
分科委員の任期を3期6年に変更す
る事、任期の起算基準は平成21年
度から起算する事を承認した。

(3)都県KGA協議会への助成金総額
の件

都県KGA協議会への助成金の増
額¥200,000-の説明があり、平
成20年度より助成金の使途を報告
することを条件に承認した。

(4)東日本ゴルフ場支配人会連合会助
成金廃止の件

東日本ゴルフ場支配人会連合会へ
の助成金は、その組織の問題から
廃止が承認された。
また、関東支配人会設立がな
された場合には、この組織に
¥2,200,000-の助成金を拠出する
事が承認された。

(5)政策小委員会の報告に関する件

総務委員会政策小委員会答申書の
各項目について説明がなされ、そ
の中で、ジュニア選手権出場条件
については、JGAジュニア会員に
入会し「J-sys」へ登録するだけで
良いことに変更する事が承認さ

れた。
それ以外の項目については承認されたが、それぞれの内容についてさらに検討をすべき項目もあり、改めて来る11月30日、12月10日に開催される総務委員会において再検討が要望された。

④各都県アマ選手権競技優勝者への「関東アマ」決勝シード権及び上位入賞者の予選参加枠付与に関する件
事務局より配布資料に基づき説明がなされ、都県アマチュア団体との連携の重要性が唱えられ承認された。尚、具体的な進め方については、来る11月30日、12月10日に開催される総務委員会で検討しゴルフ振興策に組み入れて審議することが要望された。

⑤「J-sys」のJGA移管関係及び新規採用状況に関する件
高橋常務理事より、JGA移管についての報告がなされた。現時点では「合意書」が締結され、年末までには「覚書」が締結される事が報告され、事務局より新規採用倶楽部数は11月7日現在で99倶楽部・2体協組織であることの報告がなされた。その際に、次の事項の確認もなされた。

- ①万が一の場合の買い戻し請求の項目が削除されている点の指摘があり、JGAからの要望で削除された事が説明された。
- ②移管に伴う保証金の金額については、第1回常務理事会で理事長一任が承認されている事から、この件は改めて理事長に一任され、第3回理事会においても報告する事が確認された。
吉田理事長からは、JGA安西会長と打合せをしており移管の経緯に伴い内容を確認して慎重に進めている、との状況報告があった。

⑥平成19年度分科委員への礼状及び平成20年度分科委員会委員候補者推薦に関する件
事務局より、資料に基づき説明がなされ承認された。

⑦各分科委員会活動状況に関する件

(1)競技委員会
野口委員長より、今年度後期競技が無事に終了した報告と御礼、管理運営研修会の報告と来年度は部会への昇格を要望、高反発クラブ規制、2008年度ゴルフ規則改正について述べられた。

最後に、コース選定に対して選定基準を決めてないと難しい事と、選定に当たってはある程度コースの内容を知らないといけない事が述べられた。

この事に対して尾関副理事長から、委員の選任方法を変更して内定・決定とすればよいのではないかと提案がなされた。
事務局からは、平成20年度関東倶楽部対抗予選競技開催方式について、各都県常務理事に対して依頼がなされた。(当日依頼文配布)

(2)ハンディキャップ委員会
事務局より、JGAハンディキャップ規定見直し要望について説明がなされ、JGAへ上申する事について承認された。

(3)広報委員会
高橋委員長より、「KGA75年史」編纂の状況報告がなされた。

(4)カード部会
篠崎部会長より、KGAカード会員が増えていない現状報告があり、来年度に向けて常務理事、理事諸氏の協力を得て、じっくりと地道に展開する方針が述べられた。
各委員長の発言に後、吉田理事長より11月25日(日)茨城ゴルフ倶楽部で開催される「JGA2007年度第1回全国小学生大会」の競技委員

長及び競技運営に関して、KGAのジュニア育成委員会に対して、JGAより正式な協力依頼があったことが報告され承認された。

⑧後援依頼に関する件
事務局より、資料に基づき説明がなされ承認された。

⑨財団法人ゴルフ協会個人会員入会審査に関する件
10月30日現在、申請のあった47名を承認した。

⑩その他

(1)JGA評議委員選任の件
事務局より、資料に基づき平成19年10月10日に13名を推薦した事の報告がなされた了解された。

(2)平成20年度各会議日程に関する件
事務局より、資料に沿って各会議の日程について確認がなされ了解された。

(3)会議開催予定の件
事務局より、今後の各会議の日程について確認がなされた。
全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成19年度
第4回常務理事会議事録

日時 平成20年1月18日(金)
11:00
場所 銀座東武ホテル 芙蓉の間

出席者 吉田理事長
尾関、竹田両副理事長
相澤、伊藤、稲川、岩宮、大原、齋藤、篠崎、塚原、野口、広中、宮坂、森川、渡邊各常務理事
定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣言した。
事務局より理事17名中、16名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、森川、渡邊両常務理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①ゴルフ振興策に関する件

事務局より配布資料を基にゴルフ振興策の必要性から具体的な施策について説明がされ、理事会に報告することが承認された。主な意見は以下のとおり。

- (1)「都県アマ」から「関東アマ決勝」へのシード権は、既に有しているとの勘違いしている県があるので、打合せが必要である。
- (2)各都県に持ち帰り資料を基に説明する必要がある。
- (3)「アンダーハンディキャップ競技」の出場者を増やすための施策が必要であり、更なる倶楽部への協力方の依頼が必要である。

②総務委員会 政策小委員会答申に対する対処内容

事務局より、配布資料を基に総務委員会及び政策小委員会より答申された、次の4項目に付き説明がなされ、理事会に報告することが承認された。

- (1)コース選定委員会の構成とコース選定のプロセスについて
- (2)分科委員会の活動と活動経費について
- (3)コース選定に伴うゴルフ場のデータ集約について
- (4)委員会、部会の統廃合と組織再編成について

③その他

- (1)レイクウッドゴルフクラブ富岡コースの退会について
事務局より経緯説明がなされ退会が承認された。
- (2)常務理事会の日程変更について
事務局より平成20年度総会、正副理事長会議、常務理事会、理事会、委員長会議の日程に付き説明がなされ、開催が承認された。
全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成20年度
第1回常務理事会議事録

日時 平成20年4月10日(木) 正午
場所 グランドアーク 半蔵門
和の間

出席者 吉田理事長、
尾関・竹田副理事長
相澤、伊藤、稲川、岩宮、大原、齋藤、篠崎、高橋、塚原、野口、広中、宮坂、森川、渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣言した。

事務局より理事長、副理事長、常務理事17名中17名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、大原、齋藤両氏を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会に関する件

- (1)加盟審査について
 - 「グレンオックスカントリークラブ」(千葉県)
渡邊常務理事(エンゼルカントリークラブ)、大栄カントリー倶楽部よりの推薦を受け、正会員への加盟が承認された。
 - 「ホロンゴルフ倶楽部」(静岡県)
伊藤常務理事(富士カントリークラブ)、菊川カントリークラブよりの推薦を受け、正会員への加盟が承認された。

- (2)退会倶楽部について
「亀山湖カントリークラブ」(千葉県・正会員)及び「高崎KGカントリークラブ」(群馬県・正会員)の退会届を受理し、退会を承認した。

②平成20年度関東ゴルフ連盟役員・委員に関する件
事務局より配布資料を基にハンディキャップ委員会の委員追加、及び栃木県ゴルフ連盟推薦委員について説

明がなされ、今年度全分科委員を承認した。

なお、4月4日ご逝去された故古賀始理事に黙祷を捧げた。

③総務委員会・政策小委員会に関する件
高橋常務理事より標題委員会の議事録を基に、次期項目について報告、審議がなされた。

- (1)政策小委員会委員と活動内容について
今年度委員構成、小委員会開催日を確認した。

- (2)第1回コース選定部会の内容に関する件
平成21年度主催競技開催コースを確認した。

- (3)1都10県アマチュア団体との連携強化について
各都県アマ優勝者に付与する「関東アマ」決勝競技へのシードについて、「対応出来る都県から実施する」という従来の決議事項につ

いて、KGAとしての競技基準の確認、規約改正を伴う必要性について論議され、今年度は見送るべきとの意見が出されたが、既に決定事項として「関東アマ」競技規定、及び各都県アマチュア団体への説明が終了しており、また、競技規定に明記し、発表している東京都の実例もあり「今年度から実施し、直近の都県競技をその対象とし、東京都は承認する。」ことを再度確認した。

- (4)女子倶楽部対抗の実行に関する件
継続審議課題とした。
- (5)都県アンダーハンディキャップゴルフ競技選手権に関する件
未加盟倶楽部会員が出場する際の参加料、及びその他の費用について、今後の検討課題とすることを確認した。

- (6)倶楽部対抗参加料金額変更に関する件

事務局にて試算し、次回常務理事会で検討することを確認した。

④平成21年度主催競技開催コース選定に関する件

事務局より配布資料により説明がなされ、平成21年度主催競技開催コースを承認した。

なお、平成21年度の決勝競技のうち、関東グランドシニア決勝は武蔵カントリークラブ・笹井コース、倶楽部対抗決勝競技はセントラルゴルフクラブにて開催することを承認した。

⑤平成21年度JGA主催競技KGA内開催コース選定に関する件

事務局より配布資料により説明がなされ、平成21年度開催推薦コースを承認した。

⑥「J-sys」JGA移管に伴う事業譲渡補償金に関する件

吉田理事長より委員長会議資料2に沿って総務委員会へ出された意見及びJGAから提示された金額について報告がなされた後、意見交換を行った。

意見交換の中では、総務委員会へ出された意見内容の確認とそれに関連した意見が審議され、JGAからの提示された金額は決定ではない事の確認がされた。

今後の交渉は、これまで通り理事長に一任する事が確認された。

⑦JGAジュニア会員の「J-sys」全員登録実施方針に伴うKGAの対応に関する件

事務局より標題の件につき、以下の提案がなされこれを承認した。

「JGAの方針決定を受けて、今年度限りではあるがジュニア選手権における参加資格について、ジュニア会員登録を「J-sys」登録として考

⑧2008年度(第18回)日本シニアオープンゴルフ競技への協賛に関する件

事務局より狭山ゴルフクラブよりの協賛依頼書につき説明がなされ、プログラムに広告協賛することが承認された。

⑨平成20年倶楽部対抗競技各ブロック大会会長に関する件

事務局より標題の件につき説明がなされ原案どおり承認された。

また、各予選会場表彰式において、優勝倶楽部と決勝進出倶楽部に対して「優勝ベナント」「決勝クオリファイ賞」を授与することを確認した。

⑩平成20年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権に関する件

事務局より標題の件につき説明がなされ開催倶楽部、大会会長を原案どおり承認した。

⑪委員長会議からの報告に関する件

事務局より常務理事会に先立ち午前10時から開催された委員長会議が開催された旨の報告がなされた。

⑫後援競技に関する件

事務局より標題の件につき説明がなされ、申請9競技の後援を承認した。

⑬日本ゴルフ協会個人会員入会に関する件

事務局より標題の件につき報告がなされ、申請30名の推薦を承認した。

⑭その他

(1)日本女子オープン広告協賛の件
事務局より紫雲ゴルフ倶楽部よりの今年度日本女子オープン広告協賛依頼書につき説明がなされ、プログラムに420,000円の広告協賛することが承認された。

(2)常務理事会等の開催日程の件
事務局より理事会の日程変更につき説明がなされこれを承認した。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

⑮「J-sys」JGA移管に伴う事業譲渡に関する件

**平成20年度
第2回常務理事会議事録**

日時 平成20年7月8日(火) 正午
場所 グランドアーク半蔵門 和の間

出席者 吉田理事長、竹田副理事長、相澤、伊藤、稲川、岩宮、大原、齋藤、高橋、塚原、広中、渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣した。

事務局より理事長、副理事長、常務理事17名中、委任状を含め出席者17名となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、高橋、塚原両氏を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査に関する件

●「ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン」(栃木県) 広中常務理事(東宇都宮カントリークラブ)、那須黒羽ゴルフクラブの推薦を受け、正会員への加盟が承認された。

●「久選カントリークラブ」(埼玉県) 高橋常務理事(日高カントリークラブ)、飯能ゴルフクラブの推薦を受け、正会員への加盟が承認された。

●「アゼリアヒルズカントリークラブ」(栃木県) 篠崎常務理事(佐野ゴルフクラブ)、都賀カントリー倶楽部の推薦を受け、準会員への加盟が承認された。

●「イーグルレイクゴルフクラブ」(千葉県) 渡邊常務理事(エンゼルカントリークラブ)、京カントリークラブの推薦を受け、準会員への加盟が承認された。

②「J-sys」JGA移管に伴う事業譲渡に関する件

吉田理事長より、「J-sys」を普及

するための各地区連盟とのネットワークシステム管理一元化の説明がなされた。事業譲渡補償金に関してはJGAからの提示された金額について報告がなされた後、意見交換を行ったが、提示金額は決定ではない事の確認がなされた。

今後の交渉は、これまで通り理事長に一任する事が確認された。

③体協委員会に関する件

岩宮委員長より標題委員会の議事録を基に、各都県体協団体の状況報告がなされた。

また、「KGAに準じた競技運営を行う観点から、競技集計ソフトを無償で各都県団体に貸与する」この件に関しては、競技委員長の了解を得てから承認することが決議された。

④平成21年度・22年度(決勝)主催競技開催コース確認に関する件

事務局より、平成21年度主催競技開催コース及び平成22年度決勝競技開催コースの報告がなされ承認された。但し、広中常務理事より、平成22年度関東倶楽部対抗決勝競技開催コース選定に関しては、8月末日まで時間を頂きたいと報告がなされた。

⑤平成21年度倶楽部対抗ブロック予選競技開催コースに関する件

事務局より平成21年度の開催コースについて、既に各都県より連絡されているコースの報告と共に、改めて平成21・22年度の開催コースの報告の依頼がなされた。

⑥平成20年度アンダーハンディキャップ選手権に関する件

事務局より資料により開催コースの確認がなされた後、本年度より集計は事務局で構築した計算ソフトを使用することの報告がなされた。

尚、そのために開催コースを対象に、事務レベルの説明会を実施することが報告された。

⑦各分科委員会からの報告

●総務委員会

高橋委員長より下記事項について報告があり審議された。

(1)資金運用
金融機関に関しては今後の検討課題であることを確認した。

(2)都県アマ・都県アンダーハンディキャップ競技・女子倶楽部対抗の件
現状の報告がなされた。

(3)倶楽部対抗参加費(予選・決勝)分割試算案の件
平成21年度より予選105,000円、決勝52,500円に変更する事が承認された。

(4)委員会・部会課題の件
総務委員会より以下の要望が出された。

1)規則部会
①ルール照会に対するアドバイスを加盟倶楽部へのサービスとして平成21年度より実施していただきたい。

②委員の研修実施して専門性を高めてもらい、資格制度の検討をしていただきたい。

2)月例委員会
①委員会本来の性格を再認識して活動して欲しい。

②関東アマのシード枠の減数
③コース選定の見直し
④競技打合せの簡略化

3)ジュニア育成
①平成21年度よりジュニア選手権の競技委員会への移管

②スクールのターゲットの見直しを図り、実状に合わせたスクールの開催及び都県アマチュア団体との連携強化

●カード部会
高橋総務委員長より、加入及び利用促進についての説明の後、ゴルフトゥデイ社「晴れ倶楽部」との

連携についての報告があり承認された。

また、カード会員への付加サービスとして、プレー予約等について各倶楽部への協力を求める旨の説明があり承認された。

●広報委員会

塚原委員長より「KGAニュース・リニューアル」についての提案があり承認された。

●コースレート委員会

大原委員長より「JGAコースレーティング」査定後15年を経過した倶楽部における再査定の説明があり、来たる9月末までに査定申請書の届かない倶楽部についてはコースレート一覧表より数値を削除する事が承認された。

●競技委員会

事務局より前期主催競技はさしたるトラブルがなく終了した旨の報告がなされた。

●ジュニア育成委員会

事務局より平成20年度夏季ジュニアスクール・ジュニア大会及びジュニア選手権の状況報告がなされた。

⑧日本ゴルフ協会個人会員入会に関する件

事務局より標題の件につき報告がなされ、申請48名の推薦を承認した。

⑨後援競技に関する件

事務局より標題の件につき説明がなされ、申請13競技の後援を承認した。

⑩その他

事務局より第3回常務理事会及び第2回理事会の日程報告がなされこれを確認した。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成19年度
第2回理事会議事録

日時 平成19年7月10日(火) 正午
場所 グランドアーク半蔵門
出席者 吉田理事長、尾関、竹田副理事長、相澤、伊藤、稲川、岩宮、齋藤、篠崎(勝)、高橋、塚原、野口、広中、渡邊各常務理事、安蔵、井上、牛込、海老原、木村、古賀、五味、佐々木、志村、下條、高澤、田村、塚本、中野、貫井、野村、萩原、林、平岩、平山、廣幡、福嶋、福田(彰)、福田(豊)、堀内、前川、宮下各理事、近藤、廣瀬両監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。事務局より理事60名中、委任状を含めた57名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、野口常務理事、安蔵理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査に関する件

塚原常務理事、筑波東急ゴルフクラブよりの推薦を受け「猿島カントリー倶楽部」(茨城県)の準会員から正会員への変更加盟が承認された。

②「J-sys」システム機能変更説明会に関する件

事務局より、配布された1都10県の説明会の予定、内容の説明、そしてすでに説明会を終えている各都県の状況について報告がなされ、福田理事より「各都県で出された意見、意向等をまとめ、理事会に報告して欲しい。」との提案がなされた。

③平成19年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権に関する件

事務局より本年度の日程、開催倶楽部

部、競技規定について報告がなされ、各理事に出席者募集方の依頼がなされた。

④各分科委員会からの報告の件

(1)総務委員会

高橋常務理事(総務委員長)より以下の報告がなされた。

①関東アマ決勝競技に於けるマスコミ及びギャラリー対策費について

吉田理事長より、開催倶楽部の「千葉カントリークラブ」の対応と千葉カントリークラブ所属「牛込理事」のご尽力に対して謝辞が述べられた後、事務局より、現時点での支出について報告がなされ、承認された。

②事務所移転費に関する件

高橋常務理事より移転費用に関する収支報告がなされ、承認された。

③政策小委員会の設置について

高橋常務理事よりKGA主催競技等の諸問題に対して、その検討機関として6月12日の臨時常務理事会にて政策小委員会の発足が承認された旨の報告がなされた。

(2)競技委員会

野口常務理事(競技委員長)より、関東アマ決勝競技開催倶楽部の「千葉カントリークラブ」の諸問題に対する迅速な対応に対して謝辞が述べられ、本年度前半競技も各都県常務理事、理事、競技委員の方々のご尽力によりさしたるトラブルも無く無事終了した旨の報告がなされた。

(3)ジュニア育成委員会

大鷲理事(ジュニア育成委員長)より、春季ジュニアスクール及び大会の報告、並びに関東ジュニア選手権、夏季ジュニアスクール・大会の開催予定、JGA小学生ゴルフ

大会について報告がなされた。

また、来年度ジュニア選手権における参加資格の「J-sys」採用について、再検討依頼がなされ、関係委員会等で検討する事となった。

(4)グリーン委員会

平山理事(グリーン委員長)より7月5日開催された「第54回グリーン研究講習会」について報告がなされた。

(5)体協委員会

岩宮常務理事(体協委員長)より体協委員会の諸問題について、JGA事務局と打合せを行なった内容の報告がなされた。

⑤平成19年度年会費未納状況に関する件

事務局より年会費未納倶楽部一覧表が配布され、その納入について各都県の常務理事、理事に対して協力方の依頼がなされた。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成19年度
第3回理事会議事録

日時 平成19年11月27日(火) 正午
場所 銀座東武ホテル 龍田の間

出席者 吉田理事長、尾関、竹田副理事長、相澤、伊藤、稲川、岩宮、大塚、齋藤、篠崎(勝)、高橋、塚原、野口、広中、宮坂、渡邊各常務理事、安蔵、井上、牛込、海老原、遠藤、大鷲、木村、黒澤、古賀、後藤、五味、佐々木、篠崎(暢)、志村、下条、高澤、高橋、田村、富田(浩)、中野、貫井、野村、萩原、林、平岩、平山、廣幡、福嶋、福田(彰)、堀内、前川、牧野、松本、宮下各理事

近藤、廣瀬両監事定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣言した。

事務局より理事60名中、委任状を含めた58名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、宮坂常務理事、牛込理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会勧告通知に関する件

(1)加盟審査について

事務局より、本理事会に先立ち開催された第3回常務理事会において「オリムピックカントリークラブ レイクつぶらだコース」(埼玉県)「霞ヶ浦カントリー倶楽部」(茨城県)の両倶楽部が、準会員として加盟承認をされた旨報告された。

(2)退会について

事務局より、本理事会に先立ち開催された第3回常務理事会において「思い川ゴルフ倶楽部」の退会承認された旨の報告ならびに「月夜野カントリークラブ」(群馬県)の退会について説明があり、両倶楽部の退会が確認した。

(3)退会勧告倶楽部について

平成18年、19年度の年会費未納3倶楽部について事務局より報告があり、本年12月末日までに未納の場合は、来る平成20年1月18日に開催される第4回理事会において退会の勧告を決議する事が承認された。また、セント・フィールズゴルフクラブ(茨城県)は支払う意思がある事、レイクウッドゴルフクラブ富岡コース(群馬県)は、11月29日に話し合いの場を持つ事が報告された。

②平成19年度一般会計・特別会計決算並びに平成20年度一般会計・特別会計予算案に関する件

(1)平成19年度一般会計・特別会計決算案について

事務局より、10月末時点での確定事項ならびに予定額を考慮した決算案について説明がなされ承認された。

審議の中で、平成20年度よりゴルフ振興協力金が廃止されることに対して「常務理事会で充分議論をして決定されたと思うが、格差の問題で地方の状況は良くない点、廃止前と諸条件が戻されていない点等を熟慮されたい」との意見が出された。

(2)平成20年度一般会計・特別会計予算案について

事務局より、来年度の活動計画に基づき策定された予算案について説明がなされ承認された。最後に、(1)・(2)について、最終的に第4回理事会で審議する事が確認された。

③各都県アマ選手権競技優勝者の関東アマ決勝シード及び上位入賞者の予選参加枠付与に関する件

事務局より配布資料に基づき説明がなされ、都県アマチュア団体との連携の重要性が唱えられ承認された。審議の中で、

①各都県の組織的な整合性が取れない場合にはKGAとして個人会員制度の検討を行う事

②各都県団体が準会員として年会費を負担はする事は困難である事

③「J-sys」の採用の必要性

上記事項等の意見が出され、過去の経緯を説明し連携が取れるようにさらに審議したいとの説明がなされた。

尚、具体的な進め方について、来る11月30日、12月10日に開催され

る総務委員会で審議し、第4回理事会に提案をして検討を行う事を確認した。

④「J-sys」のJGA移管状況に関する件

高橋常務理事より、現時点では合意書が締結され、12月中旬までには覚書が締結される事が報告された。

説明の中で、事業譲渡に関する協定について「J-sys」の残存簿価の金額¥24,146,220-(含消費税)はJGAが負担する事が決定された事並びに補償金については第1回常務理事会で理事長一任となされている旨の説明がなされ、吉田理事長からは、現段階はJGA安西会長と打合せしており移管の経緯に伴い内容を確認して慎重に進めている、との状況報告があった。

⑤平成19年度分科委員への礼状及び平成20年度分科委員会委員候補者推薦に関する件

事務局より、資料に基づき説明がなされ承認された。

⑥各分科委員会活動状況に関する件

以下の委員会につき分科委員長、事務局より報告がなされた。内容及び承認事項は以下の通り。

(1)総務委員会：高橋常務理事

資料に沿って①ゴルフ振興策、②KGA規約改正案、③都県KGA協議会への助成金増額、④東日本ゴルフ場支配人会連合会助成金廃止、⑤政策小委員会に関する件について、説明がなされた。

その中で、競技開催借用料が現状の金額であるならば、競技開催の事前打合せの費用を開催倶楽部の負担からKGAの負担に変更の要請があった。

この件については11月30日、12月10日の総務委員会で検討をすることと了解された。

(2)競技委員会：野口常務理事

野口委員長より、今年度後期競技が無事に終了した旨の報告と御礼、管理運営研修会の報告、高反発クラブ規制、2008年度ゴルフ規則改訂について説明がなされた。

(3)ハンディキャップ委員会：富田理事
富田委員長より、1都10県で実施された、「J-sys」システム機能変更説明会の結果報告と開催に当たって各都県常務理事にご支援頂いた御礼、11月26日現在の新規採用申込状況とJGAハンディキャップ規定見直しの要望をJGAへ上申する事について説明がなされた。

(4)月例競技委員会：中野理事
中野委員長より、12月の競技を残して無事に終了した旨の報告、平成20年度の月例競技会開催日程について説明がなされた。また、議題-3に関連してゴルフ振興策によりゴルフ界の発展が見込めるのであれば、月例競技委員会のシード枠について検討をすとの発言があった。

(5)ジュニア委員会：大鷲理事
大鷲委員長より、①平成19年度関東ジュニア選手権、②JGA小学生ゴルフ大会、③高ゴ連との一本化、④平成19年度ジュニアゴルフスクール大会について説明がなされた。

(6)広報委員会：高橋常務理事
高橋委員長より、「KGA75年史」編纂の状況報告がなされた。

(7)カード部会：篠崎常務理事
篠崎部会長より、KGAカード会員が増えていない現状報告があり、来年度に向けて常務理事、理事諸氏の協力を得て、じっくりと地道に展開するとの方針が述べられた。

(8)グリーン委員会：平山理事
平成20年1月23日（水）に開催される、第55回グリーン研究講習会について説明がなされた。

⑦その他

(1)JGA評議委員選任の件
事務局より、資料に基づき平成19年10月10日に13名を推薦した事の報告がなされた了解された。

(2)平成20年度各会議日程に関する件
事務局より、資料に基づき各会議の日程について確認がなされ了解された。

(3)会議開催予定の件
事務局より、今後の各会議の日程について確認がなされた。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成19年度
第4回理事会議事録

日時 平成20年1月18日（金）正午
場所 銀座東武ホテル 桜の間
出席者 吉田理事長、

尾関、竹田副理事長、相澤、伊藤(淳)、稲川、岩宮、大原、齋藤、篠崎(勝)、塚原、野口、広中、宮坂、渡邊各常務理事、安藏、伊藤(文)、井上、牛込、海老原、遠藤、大鷲、小坂、後藤、五味、佐々木、篠崎(暢)、志村、高澤、田村、富田、貫井、野村、林、平岩、平山、廣幡、福嶋、福田(彰)、福田(豊)、前川、牧野、松本、宮下各理事、近藤、廣瀬両監事

定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣言した。
事務局より理事60名中、委任状を含めた57名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、相澤常務理事、海老原理事を指名し順次議題審議を行った。

①加盟審査及び退会・退会勧告に関する件
(1)加盟審査について
伊藤常務理事（富士カントリークラブ）、サザンクロスカントリークラブよりの推薦を受け、「天城高原ゴルフコース」（静岡県）の準会員への加盟が承認された。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会・退会勧告に関する件

(1)加盟審査について
伊藤常務理事（富士カントリークラブ）、サザンクロスカントリークラブよりの推薦を受け、「天城高原ゴルフコース」（静岡県）の準会員への加盟が承認された。

(2)退会勧告倶楽部について
平成18年、平成19年度の年会費未納倶楽部の4倶楽部について事務局より報告があり、「月夜野カントリークラブ」及び「レイクウッドゴルフクラブ富岡コース」の退会承認を受けた事の報告と、「セント・フィールズゴルフクラブ」及び「豊里ゴルフクラブゴルフ」の年会費の支払い経過の説明があり、第4回理事会に於いて退会勧告の必要がなくなった事が報告された。

②平成19年度一般会計・特別会計収支決算書案並びに平成20年度一般会計・特別会計収支予算書案に関する件

(1)平成19年度一般会計・特別会計決算書案について
公益法人改革が実施される為、公益法人会計審査に基づき平成19年度の事業報告書・決算報告書には、参考資料として新会計基準に基づいた決算書も掲載される事が報告された。

(2)平成20年度一般会計・特別会計収支予算書案について
事務局より予算案について説明がなされ、総会に上程する事が承認された。
なお、福田理事より振興金廃止の是非についてのご意見と、「J-sys」のJGAへの移管に伴う補償金の件について質問があり、JGAと

は2月早々に話し合う事が報告された。

③ゴルフ振興策に関する件

選事務局より資料に基づきゴルフ振興策の必要性から具体的な施策について説明がなされ承認された。

④総務委員会・政策小委員会に関する件

事務局より、資料によって説明がなされ承認された。

⑤第60回通常総会に関する件

事務局より、資料によって説明がなされ承認された。
(1)カード部会：篠崎常務理事
篠崎部会長より、KGAカードの厳しい現状報告があり、事務局より資料に基づいて平成20年度のカード普及に関する具体的な説明がなされ承認された。

(2)ジュニア育成委員会：大鷲理事
大鷲委員長より、ジュニア会員数増加の現状報告があり、小学生会員増加により平成20年度春季ジュニアスクールの1会場増加（葉山パブリックゴルフコース）の説明がなされ承認された。

⑦財日本ゴルフ協会 個人会員入会審査に関する件

1月18日現在申請のあった9名を承認した。

⑧「平成20年度後援競技」に関する件
1月18日現在申請があり資料に掲載した7競技と、事務局より報告があった「東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権」の計8競技の後援を承認した。

⑨その他
事務局より、平成20年度第1回常務理事会・第2回委員長会議日程変更の報告があり承認された。
全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成20年度
第1回理事会議事録

日時 平成20年2月20日（水）
場所 ホテルニューオータニ 舞の間
出席者 吉田理事長、

尾関、竹田副理事長、相澤、伊藤(淳)、稲川、岩宮、齋藤、篠崎(勝)、高橋、塚原、野口、広中、渡邊各常務理事、安藤、伊藤(文)、井上、牛込、海老原、大鷲、川田、木村、古賀、後藤、五味、佐々木、篠崎(暢)、下条、高澤、高橋、田村、富田、中野、貫井、野村、林、平岩、平山、福嶋、福田(豊)、前川、牧野、松本、宮下、村山各理事、近藤、廣瀬両監事

定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣言した。
事務局より理事60名中、委任状を含めた59名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、稲川常務理事、木村理事を指名し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①平成20年度分科委員選任に関する件
選任は理事会終了後に開催される「第1回委員長会議」に一任された。

②財日本ゴルフ協会 平成20年度委員会委員候補者推薦に関する件
選任は理事長、副理事長に一任された。

③各分科委員会からの報告に関する件
●総務委員会
①連盟主催競技開催に関するコース情報提供について
高橋総務委員長より、平成21年度・22年度の競技開催のコース選定に当たり、収集した資料の結果は未公開とし、事務局で保管する事が報告された。

②都県内競技実施状況調査について
高橋総務委員長より、新たな競技の参考資料として、都県内で開催されている競技についての調査資料を集約し事務局で保管する事が報告された。

④2008年（第41回）日本女子オープン競技への広告協賛に関する件
高橋総務委員長より、「2008年（第41回）日本女子オープンゴルフ選手権競技」の公式プログラムへの広告協賛についての説明がなされ承認された。

⑤財日本ゴルフ協会 個人会員入会の件
2月20日現在、申請のあった14名を承認した。

⑥後援競技について
次の7競技の後援が承認された。

①第10回東京都知事杯アマチュアゴルフ選手権（男・女）
（兼第63回国民体育大会東京都代表選手選考競技会）

②平成20年東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

③平成20年東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技

④平成20年東日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

⑤平成20年東日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

⑥平成20年東日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技

⑦第10回山梨オープンゴルフ選手権大会

⑦その他
(1)平成20年度関東倶楽部対抗競技・開催日程・開催会場・大会会長の件
事務局より資料を基に報告された。
(2)平成20年度アンダーハンディキャップブロック大会開催会場名・大会会長名調査の件
事務局より調査報告書の提出期限

の説明がなされた。

(3)平成20年度常務理事会・理事会及び委員長会議開催日程確認の件
事務局より開催日程の報告がなされた。
全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成20年度
第2回理事会議事録

日時 平成20年7月15日(火) 正午
場所 グランドアーク半蔵門
富士西の間

出席者 吉田理事長、竹田副理事長、相澤、伊藤、稲川、岩宮、齋藤、篠崎(勝)、高橋、塚原、野口、広中、宮坂、森川、渡邊各常務理事、安藏、井上、牛込、海老原、遠藤、大鷲、木村、小坂、後藤、五味、佐々木、篠崎(暢)、志村、下条、高澤、高橋、田村、塚本、富田(浩)、中野、貫井、野村、早川、林、平岩、平山、廣幡、福嶋、福田(彰)、堀内、前川、牧野、村山各理事、近藤監事

定刻、吉田理事長が議長を務め開会を宣した。

事務局より理事61名中、委任状を含め60名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、岩宮常務理事、小坂理事を指名し、順次議題審議を行った。

— 討議及び決議事項 —

①平成21年度・22年度(決勝)主催競技開催コース確認に関する件

事務局より説明がなされ、平成21年度・22年度決勝主催競技開催コースを承認した。

②平成20年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権に関する件

事務局より資料により開催コースの確認がなされた後、本年度より集計は事務局で構築した計算ソフトを使用することの報告がなされた。
尚、そのために開催コースを対象に、事務レベルの説明会を実施することが報告された。

③各分科委員会に関する件

●総務委員会

高橋総務委員長より下記事項について報告があり審議された。

- (1)資金運用
金融機関に関しては今後の検討課題であることを確認した。
- (2)都県アマ・都県アンダーハンディキャップ競技・女子倶楽部対抗の件
現状の報告がなされた。
- (3)倶楽部対抗参加費(予選・決勝)分割試算案の件
平成21年度より予選105,000円、決勝52,500円に変更する事が承認された。
- (4)委員会・部会課題の件
総務委員会より以下の要望が出された。

1)規則部会

- ①ルール照会に対するアドバイスを加盟倶楽部へのサービスとして平成21年度より実施していただきたい。
- ②委員の研修を行いレベルアップを図っていただき、資格制度の検討をしていただきたい。

2)月例委員会

- ①委員会本来の性格を再認識して活動して欲しい。
- ②関東アマのシード枠の減数
- ③コース選定の見直し
- ④競技打合せの簡略化

3)ジュニア育成

- ①平成21年度よりジュニア選手

権の競技委員会への移管

②スクールのターゲットの見直しを図り、実状に合わせたスクールの開催及び都県アマチュア団体との連携強化

●カード部会

篠崎部会長より、加入及び利用促進についての説明の後、ゴルフトゥデイ社「晴れ倶楽部」との提携についての報告があり承認された。
また、カード会員への付加サービスとして、プレー予約等について各加盟倶楽部への協力を求める旨の説明があり承認された。

●競技委員会

野口委員長より前期主催競技はさしたるトラブルがなく終了した旨の報告がなされた。

●ハンディキャップ委員会

富田委員長より、第1回ハンディキャップ委員会の議事録を基に報告がなされた。

また、JGAハンディキャップ委員会の報告がなされ、他地区連盟では「J-sys」の普及が進んでいない旨の報告がなされた。

●コースレート委員会

事務局より「JGAコースレーティング」査定後15年を経過した倶楽部における再査定の説明があり、来たる9月末までに査定申請書の届かない倶楽部についてはコースレート一覧表より数値を削除する事が承認された。

●ジュニア育成委員会

大鷲委員長より平成20年度夏季ジュニアスクール・ジュニア大会及びジュニア選手権の状況報告がなされた。

●広報委員会

塚原委員長より「KGAニュース・リニューアル」について提案があり承認された。

●グリーン委員会

平山委員長より「第56回グリーン研究講習会」実施の報告がなされた。

●体協委員会

岩宮委員長より標題委員会の議事録を基に、各都県アマ団体との状況報告がなされた。
また、各都県体協団体より要望が

あれば競技集計ソフトを無償で都県連に貸与することを承認した。

④後援競技に関する件

事務局より標題の件につき説明がなされ、申請15競技の後援を承認した。

⑤その他

事務局より以下の報告がなされ確認した。

●新規加盟4倶楽部の報告

●富士カントリークラブ開場50周年、大相模カントリークラブ開場40周年の報告

●第3回委員長会議・第3回常務理事会・第3回理事会の日程報告

全議事終了後、吉田理事長が閉会を宣した。

コース・レート委員会
日暮俊明委員 チャリティ寄贈



コース・レート査定においてホールインワン!
「ジュニアgolfer普及と育成のために」と

平成20年度第3回理事会に先立ち、コース・レート委員会の日暮俊明委員より、「ジュニアgolfer普及と育成の一助に」と寄せられた13万円のチャリティの寄贈式が行われた。日暮委員は9月9日、芳賀カントリークラブのコース・レート査定において、南コースの2番ホール(195ヤード)でホールインワンを達成。KGA委員として、またゴルフ練習場(千葉県柏市、日暮ゴルフセンター)の経営者として日ごろから支援したいと考えており、実際に取り組んでもきたジュニアgolfer振興の一環として、今回のチャリティ寄贈となった。「偶然にも、私はKGAのジュニア選手権の第1回大会の出場者なんです。ですから、自分の競技ゴルフの歴史は、一部、KGAの本格的なジュニア競技の歴史とともにあるので……」と、ジュニアgolfer界に寄せる、並々ならぬ思いを語ってくれた。

なお、関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技の2日目(6月5日)に、斎藤天津規選手(扶桑CC)が、鳥山城カントリークラブの11番ホール(182ヤード)にてホールインワンを達成され記念として10万円を、またジュニア育成委員会の川島英雄副委員長が、9月15日に高坂カントリークラブの14番において、ホールインワンを達成され、10万円のチャリティをそれぞれ寄贈された。

月例競技成績表

〔平成20年度7月月例〕平成20年7月14日(月) 小金井カントリー倶楽部

| 男子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|-----|
| | 1 | 69 | 金 浩延 | 塩 原 |
| | 2 | 69 | 松田 永基 | 清 川 |
| | 3 | 70 | 阿部 勝彦 | 草 津 |
| | 3 | 70 | 亀井 隆 | 唐 沢 |
| | 3 | 70 | 竹石 要佑 | 筑 波 |

※優勝はプレーオフによる

| 女子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|---------|
| | 1 | 75 | 田中 博子 | ツインレイクス |
| | 2 | 75 | 佐藤 千紘 | 伊 勢 原 |
| | 2 | 75 | 嶋田 江莉 | アザレア |

※優勝はプレーオフによる

〔平成20年度8月月例〕平成20年8月11日(月) 程ヶ谷カントリー倶楽部

| 男子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|-------|
| | 1 | 67 | 早乙女剛史 | 車月・佐野 |
| | 2 | 67 | 藤田 大 | 車月・佐野 |
| | 3 | 68 | 金子 真育 | 慶應義塾大 |
| | 3 | 68 | 市田 雅亮 | 袖ヶ浦 |
| | 3 | 68 | 河村 拓磨 | 城 里 |

※優勝はプレーオフによる

| 女子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|------|
| | 1 | 71 | 青木茉莉奈 | 白 水 |
| | 2 | 73 | 青木瀬令奈 | 白 水 |
| | 3 | 74 | 小宮 陽子 | 都 留 |
| | 3 | 74 | 落合 麻紀 | 箱 根 |
| | 3 | 74 | 綾田 結子 | 大宮国際 |
| | 3 | 74 | 愛甲 遥 | 甲斐駒 |

〔平成20年度9月月例〕平成20年9月10日(水) 箱根カントリー倶楽部

| 男子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|--------|
| | 1 | 70 | 竹石 要佑 | 筑 波 |
| | 2 | 71 | 永野 雄亮 | か ず さ |
| | 2 | 71 | 原田 武秀 | 大 利 根 |
| | 4 | 72 | 柴田 博文 | ザ・レイクス |
| | 4 | 72 | 佐藤 和夫 | 東 千 葉 |
| | 4 | 72 | 山下 勝紀 | 扶 桑 |
| | 4 | 72 | 茅野 弘喜 | 諏 訪 湖 |

| 女子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|---------|
| | 1 | 71 | 田中 博子 | ツインレイクス |
| | 2 | 77 | 花田 里子 | 紫 塚 |
| | 3 | 78 | 本宮あゆみ | ニッソー |
| | 3 | 78 | 長谷川浩子 | 京 |
| | 3 | 78 | 落合 麻紀 | 箱 根 |
| | 3 | 78 | 佐藤 文香 | 豊岡国際 |

〔平成20年度10月月例〕平成20年10月20日(月) 我孫子ゴルフ倶楽部

| 男子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|---------|
| | 1 | 66 | 宮里 政志 | ノースショア |
| | 2 | 70 | 原田 武秀 | 大 利 根 |
| | 3 | 71 | 館 英樹 | 富 士 笠 間 |
| | 3 | 71 | 竹石 要佑 | 筑 波 |
| | 5 | 72 | 山下 勝紀 | 扶 桑 |
| | 5 | 72 | 中里光之介 | ロイヤルスター |
| | 5 | 72 | 藤田 大 | 車月・佐野 |

| 女子 | ランク | スコア | 氏名 | 倶楽部 |
|----|-----|-----|-------|-------|
| | 1 | 72 | 南雲 真理 | 岡部チサン |
| | 2 | 73 | 佐藤 千紘 | 伊 勢 原 |
| | 3 | 74 | 嶋田 江莉 | アザレア |
| | 3 | 74 | 植田希実子 | 大宮国際 |

お詫びと訂正

2008夏号No.97「特別対談／1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く」の文中、埼玉県ゴルフ協会が主催する「埼玉県ゴルフ選手権」を、埼玉新聞社主催である「埼玉アマチュアゴルフ選手権」と誤って掲載いたしました。(29ページ)ここに深くお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

平成20年12月20日発行 KGA NEWS No.98
 発行所/関東ゴルフ連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号 銀座SCビル4階
 TEL.03-6278-0005 FAX 03-6278-0008 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
 発行人/吉田 友明 編集/広報委員会